

ふくさき町の教育

福崎町教育委員会 事務事業点検・評価報告書 (平成28年度事業分)

平成30年1月

福崎町教育委員会

<目 次>

I	はじめに	1
II	実施方針	2
III	事務事業点検・評価表	3

学校教育課

(1)	就学前の子育て支援事業	5～22
(2)	教育委員会事業	23～28
(3)	学校関係事業	29～40
(4)	給食センター事業	82～85

社会教育課

(5)	社会教育事業	41～46、61～64
(6)	芸術・文化事業	47～50、54～58
(7)	図書館事業	51～53
(8)	文化財事業	65～76
(9)	社会体育事業	59・60、77～81、86～94
IV	学識経験者の意見	95
V	参考資料	105
	■平成28年度福崎町教育の努力目標	107
	■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱	112

I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成28年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様はこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 実 施 方 針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

1 趣 旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

2 実施方法

ア 点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。

イ 点検及び評価は、毎年度1回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとしします。

ウ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は1年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。

エ 教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。

オ 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。

カ 教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとします。

3 実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

Ⅲ 事務事業点検・評価表

3. 民 生 費

平成27年度からすべての校区の幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行し、平成28年度も引き続き就学前教育・保育の充実を図りました。

1次評価： B

(2) 児童福祉費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児 童 福 祉 費	1. 児 童 福 祉 総 務 費	47,052,000 円	46,141,471 円	910,529 円

昨年度に引き続き「福崎町子ども・子育て会議」を開催し、「子ども・子育て支援事業計画」について審議しました。また、マイナンバー制度等に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

事業名／子ども子育て支援事業(学校教育課)

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育啓発	

◆事業内容(目的・必要性)

平成26年度に策定した「子ども・子育て支援事業計画」の進捗について、平成27年度に引き続き「福崎町子ども・子育て会議」において審議しました。また、マイナンバー制度に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

◆事業の成果

平成28年度は平成26年度に策定した「子ども・子育て支援事業計画」の進捗について、引き続き子ども・子育て会議で審議しました。

また、子育て支援システムの改修を行い、マイナンバー制度の施行及び国の段階的幼児教育無償化に対応するための準備を整えました。

■福崎町子ども・子育て会議

○委員構成 15名

- ・子どもの保護者 5名
- ・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 5名
- ・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 5名

○会議開催 1回(平成29年3月10日)

■子ども・子育て支援システム改修

○業務の内容

児童福祉システム 社会保障・税番号制度システム整備業務委託 1,630,000円

幼児教育無償化対応システム改修業務委託(平成27年度繰越) 1,620,000円

○業務委託業者 (株)さくらケーシーエス

□効果・達成度

システムの改修を行うことで、マイナンバー制度の施行及び国の段階的幼児教育無償化に対応するための準備が整いました。

□課題・改善

「子ども・子育て支援事業計画」の進捗については、平成29年度に実施予定の中間見直しに向けて量の見込等の検討を行い、より現状に添った内容で計画を進めていく必要があります。

【平成27年度から繰越分】

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2, 000, 000	1, 620, 000	810, 000			810, 000

【平成28年度分】

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3, 538, 000	3, 340, 966	583, 000			2, 757, 966

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	3.保育所費	7,129,000 ^円	6,711,530 ^円	417,470 ^円

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童の費用について、該当する私立保育所及び公立保育所の設置者に対して支出した費用です。

事業名／町外公立保育所委託事業、町外私立保育所委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

施設の利用を委託した町外私立保育所及び町外公立保育所へ、委託料を支払いました。

◆事業の成果

■町外私立保育所

(単位:円)

■町外公立保育所

(単位:円)

	委託料
北条保育園	1,444,360
屋形保育所	30,560
姫路保育園	1,986,500
神崎保育園	1,667,270
ピュアキッズ保育園	159,490
計	5,288,180

	委託料
前之庄保育所	782,350
豊富保育所	641,000
計	1,423,350

□効果・達成度

町外私立保育所及び町外公立保育所委託料の支払を行い、各保育所の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立保育所等への適正な予算執行に努めていきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
7,129,000	6,711,530	2,741,610		747,500	3,222,420

■保育所年間延べ利用児童数

(単位:人)

施設名		定員	利用延べ児童数	利用状況			
				0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
姫路市	豊富保育所	120	9	0	9	0	0
	姫路保育園	120	12	0	0	12	0
	前之庄保育所	60	11	0	0	11	0
市川町	甘地保育所	90	24	9	8	0	7
	川辺保育所	60	24	0	12	0	12
神河町	神崎保育園	90	9	9	0	0	0
加西市	北条保育園	130	12	0	12	0	0
加古川市	ピュアキッズ保育園	95	2	0	1	0	1
合計			103	18	42	23	20

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児童福祉費	4. 認定こども園費	501,155,000 ^円	496,494,079 ^円	4,660,921 ^円

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。

主な支出は、職員21名、嘱託・臨時職員25名に係る人件費、アルバイト保育教諭賃金、私立認定こども園及び町外公立認定こども園への施設型給付費、事務費等です。

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総 計	Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	① 保育事業の充実
	◆ 取組内容	延長保育事業や一時預かり事業 必要な保育士数の確保	食育の推進
	Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	② 就学前教育の充実
総 計	◆ 取組内容	質の高い保育事業展開のための研修参加 幼稚園年齢の見直し（3歳以上へH27年度達成） 学校教育への円滑な接続	保育・就学前教育の充実 食育の推進
	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	① 子どもの健やかな成長支援
	◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入 地域ぐるみでの子育てサポートの推進	子育て世代と多世代間交流事業の推進 就学援助費、保育料の軽減等、経済的支援を継続
総 計	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	② 子育て家庭への支援
	◆ 取組内容	地域全体で支える子育ての推進	
	Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	② 教育・育成の充実
総 計	◆ 取組内容	サポートファイルの活用、適切な支援継続	

事業名／認定こども園管理費

◆事業内容(目的・必要性)

入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。

教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会への参加や、職員の計画により研修会を実施しました。

また、施設・設備等の修繕、清掃及び害虫駆除を行い、施設の維持管理に努めました。

◆事業の成果

町内公立認定こども園研修会等において、経験豊かな講師による保育実践を中心とした指導研修を実施しました。

また、施設等の不具合部分の修繕を行いました。

■研修会実施内容

	実施日	内 容
幼稚園合同研修会	6月18日	保育環境研修（高岡幼稚園保育室での指導・助言）
	6月30日	公開保育事前研修（高岡幼稚園での保育指導・助言）
	7月16日	保育環境研修（田原幼稚園保育室での指導・助言）
	8月6日	保育環境研修（福崎幼稚園保育室での指導・助言）
	8月27日	運動実技研修（田原幼稚園での運動遊び指導）
	9月10日	保育環境研修（八千種幼稚園保育室での指導・助言）
	10月22日	公開保育研修（高岡幼稚園での保育指導・助言）

■嘱託医報酬

・内科医 839,520円 ・歯科医 650,300円 ・薬剤師 168,000円

■修繕関係

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	831,300
八 千 種 幼 児 園	138,020
福 崎 幼 児 園	1,200,076
高 岡 幼 児 園	16,200
合 計	2,185,596

※年長用プール塗装等950,400円含む

■委託料関係

区 分	金 額 (円)
清 掃 委 託 料	313,200
植 木 剪 定 等 委 託 料	432,009
電 気 設 備 管 理 委 託 料	775,200
警 備 委 託 料	588,384
消 防 設 備 点 検 委 託 料	54,000
口 座 振 替 伝 送 サービス 導 入 委 託 料	63,325
合 計	2,226,118

□効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理をおこない、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

合同研修は、日頃の教育・保育を省みる機会となり教育・保育の質の向上につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
入所・入園児童数(人)	522	598	594	594	635	700

□課題・改善

低年齢児からの入園が年々増加していることから、保育教諭の確保が課題となっています。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園運営に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,877,000	25,053,872	110,000		7,848,769	17,095,103

事業名／認定こども園事業費

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら年齢に応じた教育・保育を実施しました。

特別保育として、午後7時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない1号認定子どもの一時預かり(幼稚園型)事業及び在宅児童の一時預かり(一般型)事業を実施しました。

また、兵庫県が実施する「ひょうご保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の第2子以降の保育料を助成しました。

◆事業の成果

保護者の多様なニーズに対応するため、延長保育事業や一時預かり事業(幼稚園型・一般型)を実施しまし

た。

多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、保育料軽減事業補助金を交付しました。

■延長保育事業利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
377	60	216	20	905	164	1,742

■一時預かり事業（一般型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	姫 学	サルビア	合 計
37	108	138	283

■一時預かり事業（幼稚園型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
554	461	526	7	270	407	2,225

■保育材料代

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	1,588,450
八 千 種 幼 児 園	698,118
福 崎 幼 児 園	1,153,305
高 岡 幼 児 園	275,229
合 計	3,715,102

■給食費等賄費

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	8,770,760
八 千 種 幼 児 園	3,352,036
福 崎 幼 児 園	6,764,724
高 岡 幼 児 園	1,738,851
合 計	20,626,371

■備品購入状況

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	256,996
八 千 種 幼 児 園	13,500
福 崎 幼 児 園	469,816
高 岡 幼 児 園	27,648
合 計	767,960

■ひょうご保育料軽減事業

対象児童数 108人

保育料軽減事業補助金 3,465,100円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

多子世帯においては対象を第2子以降に拡充し、より多くの世帯の経済的負担の軽減を図ることができ、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進することができました。

□めざそう値

第5次総合計画調査事項	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
延長保育事業(延べ人数) H16年度～	3,597	3,513	2,852	1,739	1,742	—
第5次総合計画調査事項	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
一時預かり事業【一般型】(延べ人数)	1,209	1,223	822	723	283	—
第5次総合計画調査事項	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
一時預かり事業【幼稚園型】(延べ人数)	—	—	—	3,685	2,225	—

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、利用者が利用しやすい環境づくりを進める必要があります。

■認定こども園年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名		定員	利用延べ児童数	利用状況			
				0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
田 原 幼 児 園		240	2,437 (48)	60 (0)	515 (3)	525 (37)	1,337 (8)
八 千 種 幼 児 園		85	784 (67)	11 (0)	177 (31)	199 (12)	397 (24)
福 崎 幼 児 園		180	1,931 (40)	31 (0)	385 (9)	412 (8)	1,103 (23)
高 岡 幼 児 園		45	380 (0)	12 (0)	68 (0)	72 (0)	228 (0)
姫 学 こ ど も 園		75	835 (70)	42 (0)	178 (36)	216 (21)	399 (13)
サルビアこども園		105	1,025 (171)	38 (31)	191 (64)	237 (34)	559 (42)
小 計		730	7,392 (396)	194 (31)	1,514 (143)	1,661 (112)	4,023 (110)
姫 路 市	萩 学 園	310	205	16	24	81	84
	姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	190	234	0	51	72	111
	みねあい保育園	130	1	0	0	0	1
	香 呂 こ ど も 園	210	1	0	1	0	0
	山 田 こ ど も 園	70	1	0	0	0	1
加 西 市	愛 の 光 こ ど も 園	86	12	0	12	0	0
多 可 町	あ さ か こ ど も 園	105	12	0	12	0	0
堺 市	湊 つ ば さ 幼 稚 園	267	2	0	0	0	2
泉佐野市	な か よ し 保 育 園	262	3	0	3	0	0
小 計			471	16	103	153	199
合 計			7,863 (396)	210 (31)	1,617 (143)	1,814 (112)	4,222 (110)

※ () 内は他市町からの受託児で外数

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
62,644,000	60,586,421	10,076,800		19,822,245	30,687,376

事業名／園児送迎バス運行事業**◆事業内容(目的・必要性)**

送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。

◆事業の成果

主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る賃金、マイクロバスの維持管理に要した費用です。

■マイクロバス利用者数 (単位：人)

田 原 幼 児 園	1
八 千 種 幼 児 園	9
福 崎 幼 児 園	6
合 計	16

□効果・達成度

利用児童数は平成27年度に比べ増加しました。ニーズのある家庭に対しよりきめ細やかに対応し、児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

□課題・改善

朝夕各1便ずつで運行しており、1台で町内6園全ての保護者の希望に応えていくことが難しいのが現状です。

今後も児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,608,000	3,480,072			336,000	3,144,072

事業名／私立認定こども園運営事業、町外公立認定こども園委託事業**◆事業内容(目的・必要性)**

私立認定こども園及び町外公立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。

また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実を図りました。

◆事業の成果**■町内私立認定こども園給付費 (単位：円)**

	給 付 費
姫 学 こ ど も 園	65,144,050
サルビアこども園	72,255,477
合 計	137,399,527

■町内私立認定こども園補助金 (単位：円)

	姫 学 こ ど も 園	サルビアこども園
調 理 員 補 助	3,930,318	4,243,643
パ ン 代 補 助	171,522	197,328
特別保育等補助金	3,769,800	3,209,710
特 別 保 育 料	501,900	478,800
合 計	8,373,540	8,129,481

■町外私立認定こども園給付費（単位：円）

	給 付 費
萩 学 園	8,340,510
姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	15,218,234
愛の光こども園	1,199,700
あさかこども園	792,160
なかよし保育園	171,900
湊つばさ幼稚園	30,760
みねあい保育園	43,880
すごう保育園	1,850,290
保城さくらんぼこども園	453,400
合 計	28,100,834

■町外公立認定こども園給付費（単位：円）

	給 付 費
山 田 こ ど も 園	47,580
香 呂 こ ど も 園	72,810
合 計	120,390

□効果・達成度

私立認定こども園及び町外公立認定こども園に対して施設型給付費の支払を行い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
183,685,000	182,123,772	104,203,526		980,700	76,939,546

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児童福祉費	5. 子育て支援施設費	22,432,000 ^円	21,409,845 ^円	1,022,155 ^円

核家族化や少子化の進展、地域のつながりの希薄化等により、家族や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総 計	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
	◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入	子育て相談業務の充実
		子育て世代と多世代間交流事業の推進	
	Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総	◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育啓発	

□めざそう値

めざそう値・アクションプラン KPI	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
子育て支援施設利用者数(人)	7,407	16,227	18,514	17,072	18,967	16,500→19,500

事業名／子育て支援センター運営事業（福崎幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報、ホームページ等による情報提供を実施しました。

また“おひさまらんど”は、子育て親子が集える場として開放すると共に、地域支援活動として地域の公民館に出かけて“すきっぷひろば”を開設し、保護者と子どもの交流促進を図りました。

◆事業の成果

■子育て支援センター事業年間延べ利用者数

おひさまらんど 利用者数	すきっぷひろば 参加者数	その他の事業 参加者数	合計
4,104人	785人	797人	5,686人

■子育て相談件数 96件

■地域支援活動（すきっぷひろば）実施状況

	実施月	開催公民館等
前期	5月	中島・八千種幼稚園・山崎・高岡幼稚園・辻川
	6月	西光寺・福田・西治・南大貫・吉田・大門
	7月	西野・田尻・新町
後期	10月	高岡幼稚園・西野・辻川・新町・山崎
	11月	西光寺・八反田・福田・八千種幼稚園・田口・南大貫
	12月	神谷・田尻・加治谷

■その他の事業

実施月	事業内容
4月	公園で遊ぼう（3回）
5月	大内先生とおしゃべり会、たかおか・やちくさひろば わらべうたあそび・すきっぷひろば
6月	きらきら子育て講演会、すきっぷひろば たかおか・やちくさひろば
7月	ミニコンサート、たかおか・やちくさひろば、すきっぷひろば
8月	七夕会、大内先生とおしゃべり会 福崎幼稚園夏祭り、たかおか・やちくさひろば
9月	おもちゃ作り（2回）、たかおか・やちくさひろば
10月	公園で遊ぼう（3回）、たかおか・やちくさひろば、 福崎幼稚園運動会に参加、幼稚園見学、すきっぷひろば
11月	たかおか・やちくさひろば、親子でわらべうた遊び(横山先生) すきっぷひろば
12月	クリスマス会（3回）、たかおか・やちくさひろば すきっぷひろば
1月	伝承遊び（老人クラブ）、給食センター見学と試食会、 おもちゃ作り（2回）たかおか・やちくさひろば
2月	福崎幼稚園豆まきに参加、大内先生とおしゃべり会 、たかおか・やちくさひろば
3月	子育て講演会

□効果・達成度

居心地の良い場を提供することを目的に事業を行ったことで、来所者数が増え子育て中の親子の交流が広がりました。また “すきっぷひろば” をミニデイ事業で実施したことで、地域の高齢者との世代間交流と共に、子育て世代と地域とのつながりができました。

□課題・改善

すきっぷひろばがかなり周知されてきたことにより参加者が増え、各公民館の駐車場が不足するという問題が発生しているため、参加者に対して乗り合わせでの来場等の呼びかけを検討します。今後も、子育て支援施設の拠点として、さまざまな事業を進めていきます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	その他	一般財源
1,899,000	1,479,808	648,648			831,160

事業名／西部子育て学習センター運営事業（文化センター内）

◆事業内容(目的・必要性)

西部子育て学習センター “ともだちひろば” を子育て親子の集いの場として提供しました。

「子育て学習講座」では、乳幼児期の子育てについての学習・実習等を開催しました。また、各子育てグループ自らが企画・立案し実施する活動をサポートし、ともに考え、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。その他、“あそびのひろば” として絵本の読み聞かせやリズム遊びなど、様々な交流の場を提供しました。

◆事業の成果

■西部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

ともだちひろば 利 用 者 数	子育てグループ 活動参加者数	子育て学習講座 参 加 者 数	そ の 他 の 事 業 参 加 者 数	合 計
5,965人	2,384人	411人	697人	9,457人

■子育て相談件数 55件

■子育てグループ

- ・ 5 グループ80組172人の親子が参加
- ・ グループごとに年間15回活動を実施
- ・ 全体行事として、ふれあい運動会、クリスマス会、おわかれ遠足等を実施
- ・ 養護老人ホームで高齢者との交流会を2回実施

■子育て学習講座

実施月	テーマ
5 月	外遊びのススメ
7 月	おへやスッカリ ママはニッコリ みんながよろこぶお片付け
8 月	人形劇
10月	チャイルドシート講演会
12月	パズル作り
2 月	絵本の読み聞かせに生演奏

■あそびのひろば

事 業 名	内 容	実 施 日
ドレミ	リズムあそび・うたあそびなど	第2木曜日 年10回
ぐりとぐら	絵本の読み聞かせ、わらべうたなど	第1木曜日 年9回
おしゃべりティータイム	テーブルを囲んで子育てについておしゃべり	4・8・10・1月

□効果・達成度

80組の子育て親子が年間15回の活動に積極的に参加され、子育て中の親子の出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も子育て中の親子の身近な施設として事業を実施し、「学びの場」・「安らぎの場」・「心のよりどころ」となるよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,861,000	2,487,680	1,389,920			1,097,760

事業名／東部子育て学習センター運営事業（田原幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て親子の集いの場として提供しました。「にこにこ講座」を開催し、子育て講演会や、親子遊びなどを通して、子育てについての知識や情報を提供したり、子どもとのふれあいを楽しんだりするような機会を作りました。また、多世代交流事業、家族で参加する事業を増やし、母親だけでなく、父親や祖父母が参加する事業も実施しました。

◆事業の成果

■東部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

にこにこひろば 利 用 者 数	にこにこ講座 参 加 者 数	そ の 他 の 事 業 参 加 者 数	合 計
3,137人	68人	619人	3,824人

■子育て相談件数 55件

■にこにこ講座

実施月	テ ー マ
5月	子どもの歯のお話
7月	楽器で遊ぼう
11月	子育て講演会（小児科の医師による）
2月	親子リズム遊び

■その他の事業

実施月	テ ー マ
4月	親子で楽しむミュージカル
6月	おとうさんと遊ぼう！
8月	おとうさんと作ろう（川遊び）
9月	家族運動会に参加
10月	いもほり、田原幼稚園見学
12月	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう
1月	クリスマス会
2月	成長の記録ノート作り
3月	みんなでおさんぽ

□効果・達成度

各月の実施事業に多くの子育て親子の参加がありました。また、家族参加の事業を通して、母親だけでなく父親や祖父母についても多くの参加がありました。

□課題・改善

今後も「学びの場」、「安らぎの場」、「子育て中の親子の心のよりどころ」として、身近な施設となるよう努力します。また、家族とのふれあいを大切し、父親の積極的な子育て参加を促すため、共に「子どもの育ち」を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,851,000	1,651,818	1,124,346			527,472

1次評価： A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	6.学童保育費	14,020,000 ^円	13,083,959 ^円	936,041 ^円

共働き家庭や母子・父子家庭など、学校から帰宅してもだれもいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、学校や地域の協力のもと、福崎小学校の余裕教室を利用した「福崎西部学童保育園」と田原小学校体育館北の「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。

また、平成28年度から開園時間を午後7時までに1時間延長し、保育内容を充実させました。

放課後子ども教室では、地域の大人や異年齢の子どもとの交流、また昔あそびを行うなど、子どもの居場所づくりに努めました。

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		3 子育て支援(2 効率的で効果的な行政運営)	①子どもの健やかな成長支援(②行政サービスの向上)
総 計	◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入	放課後子ども教室の充実
	◆ 取組内容	学童保育の利用学年の拡充(小3→小6までへH27年度～)	
総 行	◆ 取組内容	学童保育利用時間延長(H28年度から午後7時までに、1時間延長)	

□めざそう値

(単位：人)

総合戦略アクションプランK P I	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H31)
学童保育利用者数	—	—	183	216	235	230→250

事業名／福崎西部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の余裕教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。

土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。

また、カーテンやカーペットの取り替え等を実施し、教室の環境改善に努めました。

◆事業の成果

福崎西部学童保育園の運営（月曜日から金曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。

■学童保育園利用状況（実利用人数） ※（ ）内は内数（単位：人）

	福崎小学校	高岡小学校	計
4月	71	2	73
5月	57	2	59
6月	55	2	57
7月 (夏休み)	88 (12)	4 (1)	92 (13)
8月 (夏休み)	96 (26)	4 (1)	100 (27)
9月	53	3	56
10月	56	2	58
11月	52	2	54
12月	49	3	52
1月	47	3	50
2月	46	2	48
3月 (春休み)	49 (9)	3 (0)	52 (9)
計 (長期休業)	719 (47)	32 (2)	751 (49)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

開園時間の延長等に伴い利用人数が増加しているため、新たな実施場所の確保について検討が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,412,000	5,946,883	2,489,000		3,342,000	115,883

事業名／田原放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校の1年生及び2年生を対象に、田原小学校の教室において5月～3月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動을しながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）

（単位：人）

	1 年 生	2 年 生	計
4 月	—	—	—
5 月	25	23	48
6 月	23	23	46
7 月	24	23	47
8 月	—	—	—
9 月	20	22	42
10月	20	23	43
11月	18	20	38
12月	20	20	40
1 月	17	21	38
2 月	16	22	38
3 月	11	19	30
計	194	216	410

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約 1 時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
162,000	149,796	86,520			63,276

事業名／八千種放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

八千種小学校の 1 年生を対象に、八千種県民交流広場において 5 月～3 月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動을しながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることで、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

	1 年生
4 月	—
5 月	24
6 月	24
7 月	24
8 月	—
9 月	23
10月	21
11月	22
12月	23
1 月	24
2 月	24
3 月	24
計	233

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約1時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
163,000	158,314	95,480			62,834

事業名／福崎東部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校北の福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。土曜日はセンター方式により町内4小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。

また、園庭用土の追加による水たまりの解消や防犯灯の設置等の環境改善に努めました。

◆事業の成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。

■学童保育園利用状況（実利用人数）

※（ ）内は内数（単位：人）

	田原小学校	八千種小学校	計
4月	80	5	85
5月	71	5	76
6月	72	5	77
7月 (夏休み)	89 (11)	5 (0)	94 (11)
8月 (夏休み)	92 (14)	5 (0)	97 (14)
9月	73	5	78
10月	68	5	73
11月	70	5	75
12月	71	5	76
1月	68	3	71
2月	64	3	67
3月	65	3	68
計 (長期休業)	883 (25)	54 (0)	937 (25)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

開園時間の延長に伴い利用人数が増加しているため、新たな実施場所の確保について検討が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,283,000	6,828,966	2,150,000		3,387,000	1,291,966

9. 教 育 費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「大地に根を張り、幹を太らせ、枝を広げ、大きく伸び行く福崎の教育」を基調に、町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして、知育・徳育・体育・食育の4育を基盤とし、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルールの大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養、ふるさとや伝統文化を大切に思う気持ちを育むこと等、「心の教育」の充実に努めました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	道徳教育の充実、ふるさと学習の継続	
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	文化資源の学校教育への利活用(ふるさと意識・豊かな人間性)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総 ◆ 取 組 内 容	人権教育を推進、人権意識の高揚 地域の教育力の活用	地域交流や郷土愛育成
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総 ◆ 取 組 内 容	サポートファイルの活用、適切な支援継続	

1次評価： A

(1) 教育総務費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1. 教育総務費	1. 教育委員会費	1,378,000 ^円	1,149,227 ^円	228,773 ^円

地方教育行政全般の運営推進に要した経費です。教育委員会の会議は、定例会11回を開催し、教育上の諸問題について審議しました。また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により平成27年度から設けられた総合教育会議においては、首長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進していくため、平成28年度は2回開催しました。

主な支出は、委員4人にかかる報酬、教育長交際費です。

事業名／教育委員会事業

◆事業内容(目的・必要性)

教育委員会において、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応し、きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、体制の確立に努めました。

◆事業の成果

概ね月に1回教育委員会を開催し、教育情勢をより早く察知し検討しました。

研修に積極的に参加し、情報収集に努め、教育委員としてより高度な人格形成を目指しました。

また、学力向上委員会を設置し、方策を検討する等、学力向上に取り組みました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,378,000	1,149,227				1,149,227

1次評価: A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1.教育総務費	2.事務局費	70,928,000 ^円	69,880,059 ^円	1,047,941 ^円

教育長、職員3人・嘱託2人に係る人件費、英語指導助手の賃金、旅費及びところを開きあう親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。

事業名／事務局一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総 計	Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
	◆ 取組内容	大規模改修計画の策定、教育施設の改修	安全で安心して学べる環境づくり
		学校教育指導員などの指導体制を維持・発展	いじめなどの問題に対して適切な対応
		学力向上への取り組み	
総 計	Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
	◆ 取組内容	障がいに対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置

◆事業内容(目的・必要性)

教育行政の円滑な運営を図りました。

◆事業の成果

不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期対応しました。

教育支援委員会を開催し、支援を要する児童生徒の実態把握及び特別支援学級の入級判定を行いました。

□効果・達成度

不登校児童生徒に対するきめ細かな対応ができました。特別支援学級への適正な入級判定ができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
大規模改修実施学校数	0	0	0	0	0	3

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

平成29年度は、小中学校施設の老朽化に対応していくため長寿命化計画策定に向けた調査を進めていきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
9,958,000	9,645,669				9,645,669

事業名／学校保健安全事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。

◆事業の成果

健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。

■教職員検診費

(単位：円)

学校名 検診名	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円
胸部レントゲン	7	25,746	4	14,712	7	25,746	3	11,034	11	40,458	6	22,068	139,764
心 電 図	16	20,736	8	10,368	21	27,216	9	11,664	17	22,032	15	19,440	111,456
血 液	15	36,405	8	19,416	21	50,967	9	21,843	17	41,259	16	38,832	208,722
H b A 1 c	15	6,480	8	3,456	21	9,072	9	3,888	17	7,344	16	6,912	37,152
胸部撮影	14	7,560	8	4,320	19	10,260	9	4,860	16	8,640	15	8,100	43,740
眼 底	21	24,948	8	9,504	23	27,324	11	13,068	18	21,384	15	17,820	114,048
尿 検 査	15	1,620	8	864	21	2,268	9	972	17	1,836	16	1,728	9,288
別途実施尿検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診 察	16	10,368	8	5,184	21	13,608	9	5,832	17	11,016	16	10,368	56,376
聴 力	16	1,728	8	864	21	2,268	9	972	17	1,836	16	1,728	9,396
大腸がん	11	11,286	7	7,182	19	19,494	6	6,156	15	15,390	16	16,416	75,924
P S A	5	8,640	0	0	5	8,640	2	3,456	5	8,640	6	10,368	39,744
腹 囲	8	2,160	4	1,080	10	2,700	4	1,080	12	3,240	10	2,700	12,960
協会健保一般健診	5	20,263	0	0	2	16,454	2	6,662	1	11,923	0	0	55,302
追加血液検査	5	3,780	0	0	2	1,512	2	1,512	1	756	0	0	7,560
市川町受診分	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,484	0	0	12,484
計	181,720		76,950		217,529		92,999		208,238		156,480		933,916

■児童・生徒検診費

	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		小 計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円
心臓検査	59	99,710	12	20,280	80	135,200	28	47,320	83	140,270	114	192,660	635,440
尿 検 査	411	39,949	67	6,512	483	46,947	150	14,580	234	22,745	334	32,465	163,198
胸部レントゲン	0	0	0	0	0	0	1	850					850
計	139,659		26,792		182,147		62,750		163,015		225,125		799,488

■ストレスチェック委託料 15,487円

(公立学校共済組合員126人(1人90円)、左記以外の者25人(1人120円))

ストレスチェックは、一次予防(メンタルヘルス不調の未然防止)を主な目的とし、教職員自身のストレスへの気づきを促すことにより、職場環境の改善につなげるためのものです。平成27年12月から施行された改正労働安全衛生法に基づき、教職員の心の健康のため、平成28年度から導入しました。

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,137,000	1,960,999				1,960,999

事業名／学校関係事業

◆事業内容(目的・必要性)

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金及び生活困窮者等の就学奨励扶助に係る事業です。

◆事業の成果

■各種大会等参加費

(単位:円)

学校名	大会名	派遣費用	各学校費用合計
福崎小	第 64 回兵庫リレーカーニバル	4,080	19,640
	第 32 回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選	5,980	
	第 40 回兵庫県小学生陸上競技大会	9,580	
高岡小	第 64 回兵庫リレーカーニバル	2,130	2,130
田原小	第 64 回兵庫リレーカーニバル	16,670	52,610
	第 32 回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選	19,170	
	第 40 回兵庫県小学生陸上競技大会	16,770	
八千種小	第 40 回兵庫県小学生陸上競技大会	2,280	2,280
福崎西中	第 64 回兵庫リレーカーニバル	1,200	865,285
	神崎郡中学校総合体育大会他	114,000	
	中播地区中学校総合体育大会	161,700	
	兵庫県中学校総合体育大会	34,480	
	NHK学校音楽コンクール	83,580	
	兵庫県合唱コンクール	9,145	
	全日本中学校陸上競技選手権大会	37,800	
	神崎郡中学校親善大会	37,800	
	中播地区中学校新人大会	192,160	
	神崎郡中学校連合音楽会	64,800	
	中播地区総合体育大会駅伝競走大会	37,800	
	兵庫県中学校陸上競技記録会	90,820	
福崎東中	姫路市中学校陸上競技記録会	15,980	857,708
	全日本中学校通信陸上競技兵庫県大会	6,640	
	神崎郡総合体育大会	129,600	
	中播地区中学生総合体育大会	252,188	
	兵庫県中学校総合体育大会	167,300	
	兵庫県中学学年別水泳競技大会	12,560	
	神崎郡親善大会	97,200	
	中播地区中学校秋季剣道大会	940	
	兵庫県中学校陸上競技新人大会選手権大会	18,760	
	中播地区中学校新人大会陸上競技大会	23,500	
	神崎郡中学校連合音楽会	32,400	
	第 27 回兵庫県中学校ソフトボール新人大会	42,800	
	兵庫県中学校総合体育大会駅伝競走の部	50,400	
	中播地区中学校新人大会	7,440	
計			1,799,653

□効果・達成度

児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。顕著な活躍として、福崎西中学校2年生の佐藤明日香さんが全国中学校体育大会陸上競技女子200mに出場しました。また、福崎西中学校3年生の川端拳史さんが兵庫県代表として第22回全国都道府県対抗駅伝競走大会に出場し、第2区を快走しました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,877,000	2,625,665				2,625,665

事業名／国際教育推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化		①国際理解の推進
総 総	◆ 取 組 内 容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	未来の国際化を担う人材の育成
		「イングリッシュフェスティバル」の開催	国際交流に関する情報の提供

◆事業内容(目的・必要性)

外国語指導助手(ALT)2人体制のもと、国際理解教育を展開しました。また、帰国・外国人児童に対する学習支援員による学習サポートを行いました。ALTや帰国・外国人児童支援員の賃金、旅費等に係る事業です。

◆事業の成果

ALTを2人配置し、小中学校の英語教育・国際教育をより充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。また、帰国・外国人児童支援員により帰国児童に対して学習のサポートを行いました。

□効果・達成度

生きた英語にふれることで児童及び生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。

□めざそう値

総合戦略アクションプランKPI	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H31)
外国語指導助手(ALT)人数	—	—	2	2	2	2

□課題・改善

ALTの指導能力をさらに高め、より一層国際教育の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,113,000	9,836,259				9,836,259

(2) 小学校費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 小学校費	1. 学校管理費	86,407,000 ^円	83,213,962 ^円	3,193,038 ^円

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託4人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。

事業名／小学校管理事業・小学校校外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進
総 ◆ 取組内容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	道徳教育の充実、ふるさと学習の継続

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目的及び目標達成のための教育を推進しました。

◆事業の成果

目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

■学校別児童・教員数調べ

H28. 5. 1 現在 (単位:人)

学校	学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	教員	事務職・ 栄養教諭等
福 崎 小		59	81	79	54	60	79	412	26	2
高 岡 小		12	8	12	14	10	11	67	12	3
田 原 小		80	79	77	78	80	89	483	28	3
八 千 種 小		28	19	14	29	33	27	150	13	2
計		179	187	182	175	183	206	1,112	79	10
2 7 年 度		187	183	178	180	205	202	1,135	77	11

■小学校別児童数の推移

学 校 名	H20	H25	H26	H27	H28
福崎小学校	379	387	396	418	412
高岡小学校	84	75	74	69	67
田原小学校	511	490	482	489	483
八千種小学校	199	188	167	159	150
小計	1,173	1,140	1,119	1,135	1,112

■校医等の報酬

内 科 医 (4 人)	2,115,640円	定期健康診断、就学前健康診断、マラソン前健康診断他
歯 科 医 (4 人)	1,436,050円	
眼 科 医 (1 人)	710,050円	
耳鼻科医 (2 人)	706,900円	
薬 剤 師 (3 人)	340,900円	教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位：円)

福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
733,324	178,505	457,549	231,148	1,600,526

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
植 木 剪 定 委 託 料		5,065	19,370	128,196	0	152,631
リソグラフ保守管理委託料		103,780	0	44,580	29,700	178,060
清 掃 委 託 料		0	0	120,000	120,000	240,000
警 備 委 託 料		294,192	294,192	294,192	294,192	1,176,768
電気設備管理委託料		129,600	98,400	129,600	172,800	530,400
貯水槽管理委託料		81,360	81,360	81,360	81,360	325,440
給食用昇降機点検委託料		52,250	35,640	35,640	35,640	159,170
消防設備点検委託料		21,600	21,600	21,600	21,600	86,400
プール循環装置点検委託料		24,840	24,840	24,840	24,840	99,360
エレベーター点検委託料		570,240	0	0	0	570,240
特殊建築物等定期報告委託料		108,000	108,000	108,000	108,000	432,000
教育用コンピュータ保守管理委託料		562,896	562,896	562,896	562,896	2,251,584
英語活動推進事業委託料		175,680	81,130	272,060	81,130	610,000
小学校体験活動事業委託料		1,202,000	594,000	1,202,000	594,000	3,592,000
計		3,331,503	1,921,428	3,024,964	2,126,158	10,404,053

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、様々な体験活動をととして、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業（県補助金）です。平成28年度も兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。町内全小学校5年生182人が2班に分かれ、4泊5日（10/11～10/15）の日程で行い、自然観察、登山、昼食作り、コース別体験等、充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■賃借料

福崎小学校敷地借上料（638.28坪） 1,320,610円

小学校コンピュータ等借上料 838,857円

■備品購入関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により図書購入・理科教材備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。

(単位：円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	事務局	計
一 般 備 品		896,547	146,448	974,764	259,372	0	2,277,131
教 材 備 品		778,541	319,099	876,746	369,081	711,713	3,055,180
図 書 購 入 費		195,588	144,113	196,128	192,175	500,105	1,228,109
計		1,870,676	609,660	2,047,638	820,628	1,211,818	6,560,420

■負担金関係 学童農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り） 1人150円

〃 （田植え） 1人150円（稲刈り） 1人300円

〃 （もち麦種まき・もち麦刈取り） 1人250円

学 校 名	いも植え (人)	いも掘り (人)	田植え (人)	稲刈り (人)	もち麦種まき (人)	もち麦刈取り (人)	入園料 (円)
福 崎 小	160	160		64			67,200
高 岡 小	46	46	21	20			22,950
田 原 小	79	77	80	80		77	78,650
八千種小	89	89	60	60			53,700
計	374	372	161	224	0	77	222,500

□効果・達成度

各学校において、それぞれ必要な備品等を購入し、教育環境をさらに充実させることができました。

平成28年度も外国語活動事業を委託しました。自然学校では、5年生が自然の中での長期宿泊体験を通して、豊かな感性や社会性を育む活動を行いました。

□課題・改善

理科備品の充足率が不十分で、これからも継続して備品購入・整備に努める必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
67,269,000	64,090,389	2,027,000		600,000	61,463,389

事業名／小学校施設補修事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	大規模改修計画の策定、教育施設の改修	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の修繕及び特別支援教室の整備等を行いました。

■修繕関係

(単位:円)

学校名	内 容	金額	各小学校合計
福崎小	学校職員トイレ洋式化工事	388,800	
	給食用昇降機故障修理	32,940	
	5年生教室床研磨・塗装修繕	248,400	
	図工室、普通教室天井、体育館男子トイレ雨漏り修理	542,592	
	北校舎庇補修工事	64,800	
	北校舎（西部学童保育園）外灯増設	77,760	
	南校舎尿石除去工事	184,680	
	ひまわり教室扉改修	194,400	
	体育館女子トイレ修繕工事	98,280	
	北校舎2階女子トイレ修繕工事	46,440	
	呼水槽ボールタップ修繕	8,208	
	防火戸レリーズ修繕	36,180	
	体育館西出入口誘導灯修繕	76,788	

	2階職員室受信機バッテリー修繕	35,532	
	ブランコゴムチューブ修繕	94,500	2,130,300
高岡小	校舎-体育館土間消火配管漏水修理	295,920	
	校舎東土間消火配管漏水修理	255,960	
	職員室、普通教室照明器具取替工事（4ヶ所）	99,360	
	学校職員トイレ洋式化工事	388,800	
	揚水ポンプ排水放流先改修	97,200	
	外壁タイル一部修繕	40,400	1,177,640
田原小	プールろ過装置修繕	178,200	
	高置水槽廻り配管更正工事	245,873	
	職員トイレ間仕切り改修	122,407	
	プールろ過装置穴空き修繕	32,400	
	プールろ過タンク穴空き修繕	32,400	
	プールろ過装置循環ポンプ修繕	37,800	
	学校職員トイレ洋式化工事	421,200	
	玄関入口底改修工事	203,904	
	特別支援学級整備工事	1,004,400	
	屋内消火栓設備表示灯カバー修繕	1,620	
	屋内消火栓設備ノズルパッキン修繕	38,880	
	ビオトープ漏水修理工事	28,080	
	アスレチック遊具補修工事	632,880	
	校舎内スピーカー入れ替え工事	909,792	
	電話機入れ替え工事	498,960	4,388,796
八千種小	門扉塗装工事	97,200	
	体育館通路樋工事	24,840	
	児童玄関東側開き戸修理	292,680	
	学校職員トイレ洋式化工事	421,200	
	児童玄関開き戸上部補強	73,440	
	体育館駐車場ポールステンレス修理	95,040	
	児童玄関西側開き戸修理	278,640	
	普通教室床研磨・塗装修繕	680,400	
	回転ジム改修工事	93,960	
	回転ジムベアリング部交換	28,080	
	3階トイレ前自動火災報知設備発信機修繕	13,824	
	体育館誘導灯ランプ修繕	24,624	2,123,928
合 計			9,820,664

■調査委託料 八千種小学校床研磨塗装工事施工調査委託 35,640円

田原小学校水道管路漏水調査業務委託 108,000円

■工事請負費 高岡小学校職員室空調設備改修工事等 926,640円

□効果・達成度

緊急を要する箇所については、修繕することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
大規模改修実施学校数	0	0	0	0	0	3

(※目標学校数は小学校・中学校あわせたもの)

□課題・改善

学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所については修繕することができましたが、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。補修の真に必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,896,000	10,890,944		700,000		10,190,944

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 小 学 校 費	2. 教 育 振 興 費	9,010,000 ^円	7,331,807 ^円	1,678,193 ^円

心身に障がいをもつ児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

事業名／小学校教育振興事業、小学校教育振興枠外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

福崎小 4 学級 (知的、自閉症・情緒、難聴、肢体)

高岡小 1 学級 (知的)

田原小 4 学級 (知的、自閉症・情緒、難聴、肢体)

八千種小 3 学級 (知的、自閉症・情緒、難聴)

■学校別児童数調 (特別支援学級)

H28. 5. 1 現在 (単位：人)

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
福 崎 小 学 校	1	4	1	1	2	2	11
高 岡 小 学 校	1	0	0	0	1	0	2
田 原 小 学 校	0	0	2	1	6	2	11
八 千 種 小 学 校	2	1	0	2	0	1	6
計	4	5	3	4	9	5	30

■備品購入費

(単位：円)

校名 \ 校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
一 般 備 品	170,912	0	243,917	198,864	613,693
教 材 備 品	244,188	95,310	109,873	149,980	599,351
計	415,100	95,310	353,790	348,844	1,213,044

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

扶 助 内 容	人数(人)	金 額(円)
学 用 品	77	892,050
修 学 旅 行	18	372,300
医 療 費	0	0
新 入 学 学 用 品	8	127,900
給 食 費	78	2,964,388
P T A 会 費	28	63,400
計	209	4,420,038

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
地域スクールヘルパー登録者数（人）	70	462	457	467	428	470

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,010,000	7,331,807	259,000			7,072,807

(3) 中学校費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
3. 中学校費	1. 学校管理費	54,597,000 ^円	52,977,333 ^円	1,619,667 ^円

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託2人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。

事業名／中学校管理事業・中学校校外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進
総◆取組内容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目標及び目的達成のための教育を推進しました。

◆事業の成果

目的を達成するために合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

■学校別生徒・教職員数調

H28. 5. 1 現在 (単位：人)

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	計	教 員	事務職・用務員
福崎西中学校	83	73	79	235	23	2
福崎東中学校	115	104	118	337	26	2
計	198	177	197	572	49	4
平成27年度	177	197	199	573	50	4

■中学校別生徒数の推移

学 校 名	H20	H25	H26	H27	H28
福崎西中学校	261	238	237	239	235
福崎東中学校	365	339	351	334	337
小計	626	577	588	573	572

■校医等の報酬

内 科 医 (2 人)	1,039,620円	定期健康診断、マラソン前健康診断他
歯 科 医 (2 人)	658,880円	
眼 科 医 (1 人)	354,850円	
耳鼻科医 (2 人)	364,300円	
薬 剤 師 (2 人)	97,400円	教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位：円)

福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
1,184,428	970,441	2,154,869

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福 崎 西 中	福 崎 東 中	計
植 木 剪 定 委 託 料		167,065	125,065	292,130
リ ソ グ ラ フ 保 守 管 理 委 託 料		82,160	52,480	134,640
「トライやる・ウィーク」推進事業委託料		400,000	600,000	1,000,000
清 掃 委 託 料		0	120,000	120,000
警 備 委 託 料		294,192	294,192	588,384
電 気 設 備 管 理 委 託 料		129,600	129,600	259,200
貯 水 槽 管 理 委 託 料		81,360	81,360	162,720
給 食 用 昇 降 機 点 検 委 託 料		32,400	32,400	64,800
消 防 設 備 点 検 委 託 料		32,400	32,400	64,800
プ ール 循 環 装 置 点 検 委 託 料		24,840	24,840	49,680
エ レ ベ ー タ ー 点 検 委 託 料		440,640	0	440,640
特殊建築物等定期報告委託料		118,800	118,800	237,600
教育用コンピュータ保守管理委託料		852,228	852,228	1,704,456
計		2,655,685	2,463,365	5,119,050

■借上料

中学校コンピュータ等借上料 2,415,407円

■備品購入費関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により、図書購入・理科教材等備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。

区分	校名	福崎西中学校	福崎東中学校	事 務 局	計
一 般 備 品		441,957	1,541,439	1,751,760	3,735,156
教 材 備 品		628,837	803,516	2,763,165	4,195,518
図 書 購 入 費		299,289	295,264	6,000	600,553
計		1,370,083	2,640,219	4,520,925	8,531,227

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
43,749,000	42,284,704	1,230,000		298,000	40,756,704

事業名／中学校施設補修事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の修繕等を行いました。

■施設補修関係

(単位：円)

学校名	内 容	金額	各学校合計
福崎西中	学校職員トイレ洋式化工事	388,800	2,944,728
	廊下長尺シート張り替え工事	896,400	
	グラウンドバックネット改修工事	1,512,000	
	消防設備消火器取り替え	8,100	
	消防設備誘導灯修繕	107,028	
	4階廊下エレベーター前部シート張り替え	32,400	
福崎東中	校舎屋上防水シート一部修繕工事	113,400	3,004,732
	プールろ過装置修繕	15,120	
	学校職員トイレ洋式化工事	421,200	
	玄関階段タイル工事	112,320	
	消防用設備改修工事	626,400	
	階段窓金物カムラッチハンドル取替工事	84,672	
	プール中央ガーター部補修工事	475,200	
	2階職員トイレ北面窓改修工事	172,000	
	トイレ窓改修工事	216,000	
	屋内消火栓ポンプ起動制御回路改修工事	54,000	
	2階職員トイレ小便器交換工事	199,368	
	来賓玄関排水工事	507,600	
	自動火災報知設備修繕	7,452	
合 計			5,949,460

□効果・達成度

いずれの中学校においても学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所について、修繕することができました。しかし、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。

□課題・改善

補修の真に必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,397,000	6,247,460			298,000	5,949,460

項	目	予算現額	支出済額	不用額
3. 中学校費	2. 教育振興費	6,991,000 ^円	5,597,714 ^円	1,393,286 ^円

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

事業名／中学校教育振興事業・中学校教育振興枠外事業

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中 2学級(知的、自閉症・情緒)

東中 3学級(知的、自閉症・情緒、難聴)

■学校別生徒数調(特別支援学級)

H28. 5. 1 現在(単位：人)

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	計
福 崎 西 中 学 校	1	3	2	6
福 崎 東 中 学 校	3	2	0	5
計	4	5	2	11

■備品購入費

(単位：円)

区分 \ 校名	福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
一 般 備 品	0	0	0
教 材 備 品	121,000	302,744	423,744
計	121,000	302,744	423,744

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

扶 助 内 容	人数(人)	金 額(円)
学 用 品	44	953,680
修 学 旅 行	16	824,800
医 療 費	3	37,330
新 入 学 学 用 品	13	234,350
給 食 費	44	1,974,342
ク ラ ブ 活 動 費	27	268,000
生 徒 会 費	32	46,350
P T A 会 費	32	54,600
計	211	4,393,452

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,991,000	5,597,714	264,000			5,333,714

(4) 社会教育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	51,615,000 ^円	50,602,324 ^円	1,012,676 ^円

生涯学習社会の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費です。

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<<章>>		施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成		② 青少年の健全育成の推進
総	◆ 取組内容	多彩な学習機会を提供	
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習		① 生涯学習施設の整備・充実
総	◆ 取組内容	バリアフリー化の推進	生涯学習の場を広く提供
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習		② 情報提供の充実
総	◆ 取組内容	積極的な情報の提供	
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習		③ クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総	◆ 取組内容	仕組みづくりなどの取り組み	機会の提供、グループや人材の育成
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財		① 芸術・文化活動の推進
総	◆ 取組内容	地域の文化振興	
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉		④ 生きがいづくりと社会参加の促進
総	◆ 取組内容	生涯学習の場の提供	

事業名／社会教育総務一般事務費

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育振興のために、行政と地域住民をつなぐ社会教育委員の活動を支援しました。また、成人式や吉識雅夫科学賞を実施し、社会教育の推進に努めました。

◆事業の成果

■社会教育委員会の活動

・社会教育委員会

- 第1回 6月9日(木)
- 第2回 9月9日(金)
- 第3回 12月8日(木)
- 第4回 3月21日(火)

- ・中・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会 7月20日(水)
- ・近畿地区社会教育研究大会(滋賀大会) 9月9日(金)
- ・中播磨地区社会教育連絡協議会研修会 2月22日(水)

■成人式 1月9日(月・祝) 該当者214人中159人の参加

新成人代表9人による実行委員会を組織し、企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを、積極的に進めてくれました。

- ・第1部 成人式式典
- ・第2部 アトラクション(ビンゴゲーム・DVD上映)

■第9回吉識雅夫科学賞

吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。

- ・小学生低中学年の部

城谷昂洋（八千種小学校 4 年生） 作品名「ふり子について」

- ・小学生高学年の部

大塚みつき（田原小学校 5 年生） 作品名「緑のカーテンで夏をすずしくすごそう」

- ・中学生の部

大塚まひろ（福崎東中学校 3 年生） 作品名「繊維の大研究」

□効果・達成度

社会教育委員から意見を聞き、成人式や吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。平成28年度の成人式式典では、新しい試みとして、新成人から家族への「感謝」の手紙を、家族から新成人へ「励まし」の手紙を読み上げてもらいました。普段なかなか口にできない家族への感謝、我が子への愛情がこめられた手紙に会場全体が感動に包まれました。成人式の出席率は約74%でした。吉識雅夫科学賞は、平成28年度で9回目を迎え、ホームページ等を用いて住民への周知に努めました。

□課題・改善

地域のニーズや課題に対応した各種事業が展開できるよう、社会教育委員の意見を求めています。また、委員の研修機会を充実します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,024,000	2,566,785				2,566,785

事業名／地域ぐるみ教育支援事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆取組内容	学校支援地域本部事業の実施	

◆事業内容(目的・必要性)

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、登下校時の見守りや校内巡視、学校から依頼を受けて行った図書貸し出し等の学校支援活動です。

◆事業の成果

■学校支援活動（学校支援地域本部事業）

【ヘルパー活動】

スクールヘルパー … 午前・午後各3～5人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー … 登下校時の見守り（1自治会で2～3か所）

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校（149人）	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校（59人）	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校（118人）	毎週月・水・金曜日	週3回
八千種小学校（106人）	毎週火・木曜日	毎週水曜日

【学校支援ボランティア活動】

依頼内容	学校	支援者	実施日	活動場所
図書貸出	八千種小学校	13人	平成27年度に引き続き5月2日から毎週月曜～金曜(昼)	図書室

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

- ・土曜英語教室 小学5・6年生対象

平成28年6月から平成29年3月までの土曜日 各校区月1回

高岡県民交流広場、福崎県民交流広場、田原県民交流広場、八千種県民交流広場

- ・サマースクール 小学4・5・6年生対象

平成28年8月1日(月)～5日(金)

八千種県民交流広場、高岡県民交流広場

平成28年8月4日(木)・5日(金)・8日(月)～10日(水)

福崎県民交流広場、田原県民交流広場

- ・ウィンタースクール 中学3年生対象

平成28年10月15日(土)～平成29年3月4日(土)の土曜日

文化センター、サルビア会館（会場交互で実施）

□効果・達成度

地域ボランティアの支援で、子どもたちの安全確保ができました。活動を通して子どもたちと地域ボランティアがふれあうこともできました。また、学校の休業日・土曜日に、地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また休業日の学習への参加者が増えるよう、より一層周知に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,197,000	979,263	571,000			408,263

事業名／青少年健全育成関係事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総 計	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育啓発 積極的な非行防止・環境浄化活動	支援体制の充実(青少年やその家族などへの相談、指導)

◆事業内容(目的・必要性)

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。

◆事業の成果

■青少年問題協議会の開催（年2回）

第1回目 平成28年7月5日（火）

第2回目 平成29年2月23日（木）

■研修会・フェスティバルの開催

- ・人権・青少年健全育成研修会

(区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修)

平成28年5月21日(土) 啓発DVD視聴・講話 参加者:99人

・人権・青少年健全育成フェスティバル

平成28年12月10日(土) 福崎町エルデホール 参加者:316人

(内容) 体験発表 小中学生

講演 演題:「障がい者が地域で暮らすには・・・」

～誰もが住みよいまちづくりに向けて～

講師:特定非営利活動法人 播磨地域福祉サービス第三者評価機構

理事長 河原正明

展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語

■青少年健全育成啓発リーフレットの作成(各戸、町内店舗等に配布) 6,300枚 16,250円

■青少年補導委員会活動状況

・定例会 11回

・街頭補導(下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回、イベント時巡回等)

	26年度	27年度	28年度
街頭補導回数	85回	86回	82回

□効果・達成度

研修会、フェスティバル等により、地域住民の青少年健全育成意識を高めることができました。自治会単位研修会では、学校の先生方の参加により、住民に子どもたちの学校でのようす等について知っていただけました。また、啓発リーフレットの作成や啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることができました。

□課題・改善

今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施します。スマートフォン等の利用の低年齢化が進んでいます。引き続き、小学校におけるインターネット利用に関する基準づくりを支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,777,000	2,560,192				2,560,192

事業名／家庭教育学級開設事業

◆事業内容(目的・必要性)

幼稚園(4園)・小学校(4校)・中学校(2校)の保護者会会員・PTA会員を対象に、各保護者会・PTA学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応するため、学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動やスポーツ大会等を1年通して実施しました。

◆事業の成果

■家庭教育学級委託料

幼稚園 4園@40,000円=160,000円

小中学校 6校@80,000円=480,000円

□効果・達成度

学級開設により、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、保護者の子育てを支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
640,000	622,841				622,841

事業名／各種団体育成事業

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育関係団体を育成することを目的とし、自主的な活動を財政的な面から支援しました。主な支出は、町PTA、町文化協会への補助金です。

◆事業の成果

■負担金

・神崎郡美術協会負担金 22,000円 ・神崎郡連合PTA協議会負担金 56,000円

■補助金

・福崎町PTA協議会補助金 80,000円 ・福崎町文化協会補助金 400,000円

□効果・達成度

町内及び郡内の社会教育関係団体と連携を図り、各種事業を実施することができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、社会教育の発展に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
560,000	560,000				560,000

事業名／こころ豊かな地域づくり推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の推進(地域教育力の向上)	

◆事業内容(目的・必要性)

こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成する事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町ココロンクラブ

年間9回(4月～11月・3月の毎月1回)役場周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。

■みどりのグループ

年間を通じて、毎月2回、町内の5か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。

■福崎町手芸ボランティア

趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。

■国際食文化交流の会

福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる環境づくりを進めるため、2か月に1回、料理を通して国際交流を行いました。

■たんぽぽ

子どもや高齢者、障がいのある方々に、お話や簡単な手遊び等で、癒しのひとときを過ごしてもらいました。

□効果・達成度

日本語サロンでは毎月2回学習者のレベル別グループ学習で、ニーズに応えることができたほか、“住みよい町づくり”をめざして、ボランティア会員に大変熱心に取り組んでいただきました。

□めざそう値

総合戦略アクションプランK P I	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H31)
日本語サロン平均受講者(人数)	—	—	8	14	14	10→15

□課題・改善

ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広げて新規会員の加入促進に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
400,000	370,903				370,903

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	2. 公民館費	8,647,000 ^円	8,144,252 ^円	502,748 ^円

生涯学習の場の提供、町民が主体的に学習するための講座や教室の開講に要した経費です。

事業名／公民館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総◆取組内容	住民企画事業の実施	
IV 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいづくりと社会参加の促進
総◆取組内容	生涯学習の場の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、地域住民に活動の場と交流の機会を提供するため、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行いました。

◆事業の成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

登録会場名	登録クラブ数(クラブ)	登録人数(人)
文化センター会場	34	373
八千種研修センター会場	20	229
地区会場	35	238
合計	89	840

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会(事務局：文化センター)に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組まれ、住民の文化の高揚、研さんの場として施設を有意義に利用されました。

■文化功績賞

氏名	所属	分野	内容
本原瑞稀	県立香寺高等学校3年生	器楽演奏	平成28年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール優秀賞
大野歩美	町立福崎東中学校3年生	税についての作文	平成28年度中学生の「税についての作文」兵庫県納税貯蓄組合総連合会会長賞
谷岡千夏	町立福崎東中学校3年生	作曲	平成28年度中学生作曲コンクール金賞

□効果・達成度

町内外の行事やイベントに積極的に参加することで、各クラブの活動の幅が広がりました。

□課題・改善

公民館クラブ会員の増加、活性化に向けて若年層の利用促進を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,058,000	1,883,908			206,500	1,677,408

事業名／老人大学事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み	
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいがづくりと社会参加の促進	
総 ◆ 取 組 内 容	生涯学習の場の提供		

◆事業内容(目的・必要性)

高齢者がともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的として、老人大学事業を実施しました。

◆事業の成果

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず募集しました。

神崎学園（2年制）・福寿学園として2学園制で運営しました。専門講座では、年間20回、園芸（野菜・花き）・陶芸・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・史学・I Tの全8コースの講座を行いました。一般教養講座については、年間10回の講演会等を開催し、10月に親睦運動会、11月に老人大学祭を実施しました。

■受講生の推移

(単位：人)

	26年度	27年度	28年度
神崎学園	88	94	92
福寿学園	212	199	204
合 計	300	293	296

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、学習の場と交流の機会を提供し、生きがいがづくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会の自主的なクラブ活動等も活発になりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
老人大学受講者数	358	312	300	293	296	360

□課題・改善

受講生のニーズを調査し、専門講座の再編等を検討します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,405,000	2,388,943				2,388,943

事業名／セミナー事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み	
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいがづくりと社会参加の促進	
総 ◆ 取 組 内 容	生涯学習の場の提供		

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民が現在の生活を見つめ直して、心豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施し、有益な知識や情報を提供しました。

◆事業の成果

■サルビアセミナー

開催回数：10回（うち5回公開講座）

学習テーマ：「ロコモ予防で健康長寿」「ライフプランニング&マネープランニングの基礎知識」「菓
膳で暑い夏を乗り切る」「『播磨国風土記』と福崎」「イスヨガで簡単ストレッチ」「戦
国時代の女性領主・井伊直虎」「粘土造形教室」「新春落語会」等

□効果・達成度

座学だけでなく、参加体験型講座や課外学習も行い、講座の活性化を図りました。

受講生同士の交流も活発になり、新たなコミュニティ形成につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
セミナー事業受講者数	207	211	190	194	177	220

□課題・改善

受講者の増加に向け、アンケート調査等を実施し、講座内容の創意工夫に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
527,000	437,849				437,849

事業名／美術展事業

◆事業内容(目的・必要性)

優れた芸術作品に親しみ、地域住民の芸術文化への関心を高めるために、第34回福崎町美術展を開催しました。地域に根をおろした内容のある公募美術展として定着し、平成28年度も約600人の来場者がありました。なお、平成28年度は出品された全作品を審査の上、展示しました。

◆事業の成果

■第34回福崎町美術展

会期：平成28年5月20日（金）～5月22日（日）

会場：エルデホール メインホール イベントホール

部門及び審査員	日 本 画	平内安彦
	洋 画	初田 寿
	書	福島松韻
	写 真	柳原 香
	彫塑・工芸	山本和子

美術展応募数・展示数

	26 年度	27 年度	28 年度
応募数（点）	180	209	184
展示数（点）	135	209	184

□効果・達成度

町内外から質の高い作品が出展され、日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができました。

□課題・改善

町内外から多くの作品応募があるよう、また、多くの来場者があるよう、広報活動の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
936,000	900,893				900,893

事業名／文化振興事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に、事業を実施しました。県民芸術劇場ではイタリアのカンツォーネのコンサートを、文化講演会では教育評論家の尾木直樹氏による地域子育て論についての講演を実施しました。

◆事業の成果

■県民芸術劇場

日時：平成28年11月19日（土）

場所：エルデホール メインホール

出演：カンツォーネ・ダ・KOBE

内容：「男声歌手たちが熱唱する魅惑のカンツォーネ」

入場者数：約300人

■文化講演会

日時：平成28年10月29日（土）

場所：文化センター 大ホール

演題：「尾木ママ流 ピンチをチャンスに変える生き方と地域子育て論」

講師：教育評論家、法政大学教職課程センター長・教授、臨床教育研究所「虹」所長 尾木 直樹

入場者数：約600人

□効果・達成度

事業を通して、地域住民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。

□課題・改善

より多くの地域住民に関心をもってもらい、来場者が増えるように、住民ニーズを調査します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,721,000	2,532,659				2,532,659

1次評価： A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	3. 図書館費	53,078,000 ^円	52,111,623 ^円	966,377 ^円

平成28年度は、平成27年11月から開始された播磨圏域相互利用により、近隣の市町からの利用が増え、ますます活気あふれる図書館となりました。また、マイナンバーカードによる貸出が可能になり、より便利な図書館利用が可能になっています。

子どもの読書活動推進のため、各学校と連携し、図書館見学の受け入れや、町内の学校を訪問しておはなし会を継続して開催することで、読書の習慣を身につけられる環境づくりに努めました。

事業名／図書館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の学習・調査研究を行う情報拠点として、また、各種講座やイベント、ボランティア活動等を通じた学習発表の場として、安全で快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めました。

◆事業の成果

図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。

- ・氷蓄熱タンク給水バルブ交換（99,360円）
- ・空調機器修理（事務所系統）（102,600円）
- ・授乳室流し台給湯器修理（71,280円）
- ・灌水修理（自動散水装置ホース破損のため）（149,850円）
- ・子ども用トイレドア、メディアルームドア修繕（93,960円）

□効果・達成度

定期点検等の実施により、安全で安心な施設管理、運営ができています。

□課題・改善

開館から10年以上経過し、各所で傷みが出てきているため、補修を要するところを早期に発見し、修繕することで、施設の耐久性延伸を図る必要があります。定期的な点検、補修を継続して実施することで、安心して利用できる施設をめざします。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,424,000	10,159,155				10,159,155

事業名／図書館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 効率的で効果的な行政運営	②行政サービスの向上
行 ◆ 取 組 内 容	公共施設の相互利用促進事業	
II 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
総 ◆ 取 組 内 容	イベントの実施、蔵書構成	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行うため、資料の整備や図書館広報・読書推進

のための行事等を行いました。

また、幼少期の読書習慣の重要性を考慮した行事等を実施しました。

◆事業の成果

平成28年度は、迅速かつ確実な情報・サービス提供を行うため、図書館システムの入替を行いました。

また、マイナンバーカードでの貸出も開始し、図書館利用の利便性が向上しました。

町内小中学生に配布している「福崎町立図書館読書ノート」の活用や、フクちゃん読書の日イベント、ワークショップの実施により、子どもの読書活動推進に努めました。また、図書館に興味を持ってもらえる行事を実施することで来館のきっかけづくりに努めました。

■子ども向け行事

てづくりえほん教室

図書館であそぼ会

マイナンバーカード利用開始イベント

フクちゃん読書の日イベント

■大人向け行事

キャンドルナイト

絵本の読み聞かせ講座（全3回）

■図書館コンピュータ入替事業

平成22年度に導入したコンピュータについて、サーバ及び各端末のOSの保守が切れていること、また、図書館システムの保守が切れることから、入替を行いました。

・図書館システム iLiswing21/WE V2 ⇒ iLiswing V3

・導入費用 11,340,000円（税込）5年リース

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。（200,000円）

■貸出冊数・貸出人数

	貸出人数(人)	貸出点数(点)	年度末登録者数(人)
26年度	46,871	206,674	13,277
27年度	49,253	222,407	14,512
28年度	48,474	239,620	15,642

□効果・達成度

平成27年11月の播磨圏域相互利用開始以来、町外利用者への貸出点数が増えています。町外の主な登録者は姫路市、市川町、神河町在住者です。

平成28年度末の蔵書点数は、140,669点となりました。

定例行事の「えほんのじかん」「おはなし会」「おたのしみ会」等は、応援隊と協力しながら、たくさん子どもたちに参加してもらい、絵本や読書の楽しさを伝えることができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
図書館貸出人数	42,091	46,717	46,871	49,253	48,474	50,000
総合戦略アクションプランK P I	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H31)
図書館町外登録者数(人数)	729	1,258	1,319	2,172	2,929	2,200→3,200

□課題・改善

学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、

本に触れる機会を増やし、子どもの読書活動を推進していきます。

今後は利用の少ない中高生や大人向けの行事を増やし、幅広い世代を対象として、継続した図書館利用につなげていく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
23,927,000	23,376,180			100,000	23,276,180

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	4. 文化センター 管理費	48,003,000 ^円	47,221,597 ^円	781,403 ^円

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費です。

事業名／文化センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

近隣施設との連携によって、地域住民の文化意識の向上、福祉増進及び体育振興を図るため、各種事業展開の中心的役割を果たしました。学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点として、文化センターの効率的な管理運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

平成28年度は施設の維持補修として、トイレ洋式化工事（13,996,800円）、大ホール舞台吊物バック幕等取替（733,536円）、誘導灯ランプ取替（123,768円）、2階パソコンルーム雨漏り修繕工事（374,220円）、大ホール音響不具合調査（36,720円）等を行いました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第33号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

	有料及び無料使用件数					使用料 （円）	使用者数 （人）
	有料 （件）	無料（件）			合計 （件）		
		町関係他	公民館	教委			
26年度	309	195	1,034	561	2,099	971,678	37,872
27年度	337	168	1,113	415	2,033	892,803	36,744
28年度	338	176	1,170	409	2,093	939,574	37,475

(※平成26年度から生活科学センター分を除く)

□効果・達成度

適切な補修により、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化や社会状況から、耐震補強等の抜本的な施設補修が必要となってきました。利用者の高齢化も進み、安全面や利便性の向上を最優先に検討していきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
23,323,000	22,551,323			939,574	21,611,749

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	5. エルデホール運営費	52,532,000 ^円	50,805,019 ^円	1,726,981 ^円

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。施設の運営、管理に要した経費です。

事業名／エルデホール管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。施設及び設備の利用をととして地域住民により高い水準の文化活動を促進するため、地域住民が安心して利用できる施設となるよう施設の管理運営を行いました。

◆事業の成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

年度			メインホール	イベントホール	洋室	スタジオ	ホワイエ	屋外舞台
26年度	開館日数 293	利用日数(日)	188	166	203	107	119	14
		稼働率(%)	64.16	56.66	69.28	36.52	40.61	4.78
27年度	開館日数 293	利用日数(日)	187	162	190	133	114	12
		稼働率(%)	63.82	55.29	64.85	45.39	38.91	4.10
28年度	開館日数 308	利用日数(日)	162	166	211	108	103	12
		稼働率(%)	52.60	53.90	68.51	35.06	33.44	3.90

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。1日に複数の利用者があっても1としています。

年度	貸館使用料収入	使用回数	利用者数
26年度	3,941,469円	899回	56,541人
27年度	3,520,267円	897回	53,190人
28年度	3,318,537円	840回	48,589人

■主な施設修繕費及び設備更新

開館から20年以上が経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。平成28年度は吸収式冷温水機（空調機）の修繕、展示パネルの修理等を実施しました。また設備更新として音響ミキサーを更新しました。音響ミキサーの耐用年数が経過し、劣化による不具合が生じていたためです。この更新は3年計画の1年目であり今後2か年かけてアンプ等も更新します。また、安全で快適なホールを維持するため、各種保守点検を行いました。主な修繕費及び設備更新に係る経費は下記のとおりです。

- ・展示パネル修理（220,428円）
- ・イベントホール空調機AHU（排気側）モーター取替工事（453,600円）
- ・音響設備更新（1年目）（2,754,000円）

□効果・達成度

音響設備一部更新により安心して貸館業務、自主公演事業を実施することができるようになりました。
また、適切な補修により安全かつ快適な施設利用が図れました。

□課題・改善

施設が老朽化し、今後も故障箇所が増えてくることが予想されます。照明や音響装置、消防設備等、大規模な改修が必要になってきていますが、修繕費が高額なため、引き続き計画的な対応が必要となります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
26,180,000	25,215,064			3,318,537	21,896,527

事業名／エルデホール自主公演事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		5 生涯学習	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総	◆ 取 組 内 容	文化プロデューサー養成講座などの機会提供	
Ⅱ 教育・文化		7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総	◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施	

◆事業内容(目的・必要性)

公演を通じて、地域住民に人生の生きがいと楽しみを提供できる機会をつくることを目的に、自主事業を実施しました。事業は、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業、住民参加型事業等、テーマ別に実施しました。

また、文化プロデューサー育成講座卒業生企画による住民企画事業を実施しました。

◆事業の成果

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために7回の自主公演事業（うち1回は住民企画事業）を実施しました。これにともなう入場料収入の合計は2,976,950円でした。

・自主事業一覧

実 施 日	内 容	人数 (人)
4月23日(土)	【住民企画事業】 ふらっとコンサート～あなただけに出来る事～	191
6月25日(土)	ティーナ・カーナ「ひとり昭和歌謡祭」	277
7月31日(日)	エルデサマーコンサート2016 「1966カルテット～ビートルズ・クラシックス・ライブ～」	342
11月13日(日)	町制60周年記念公演 中村雅俊CONCERT TOUR2016"LOWE"Acoustic Unit	328
11月20日(日)	エルデ秋の映画祭	167
2月12日(日)	ふくさき紅白歌合戦	291
3月19日(日)	0歳からの親子で楽しむリトミック・コンサート	311
計		1,907

□効果・達成度

平成28年度も住民の方が企画者として事業に参加していただく住民企画事業を募集し、4月にプロの歌手と一緒に地域の若者が参加する公演を実施することができました。平成28年度は町制60周年記念公演としてテレビ等で活躍中の中村雅俊のコンサートを実施し、チケットは即完売となり多くの方に喜んでいただきました。遠くから来られた方については福崎町で観光をされた方も多く、相乗効果をもたらしました。また、子育て世代をターゲットにしたコンサートも実施し、多くの方に来ていただき好評でした。

なお、平成28年度のエルデホール自主公演事業平均入場者数は、272人でした。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
自主公演事業平均入場者数(エルデホール)	182	191	288	271	272	230→290

□課題・改善

平成28年度もまだ高い集客率が維持できていますが、毎回集客については苦勞しています。より多くの住民に足を運んでいただき、心のよりどころとなる事業、生涯学習を兼ねた事業が展開できるよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,539,000	10,963,488			2,976,950	7,986,538

1次評価： A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	6.研修センター運営費	7,608,000 ^円	7,514,088 ^円	93,912 ^円

八千種研修センターは、文化センター（中央公民館）の分館として、地域住民の文化教養の向上や地域社会の連携を深めるために運営しました。その管理・運営を効率的に行うために要した経費です。

事業名／研修センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域文化の向上、研さんの場として、利用者に安全で快適に利用していただくため、適切な管理・運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

平成28年度は施設の維持補修として、2階トイレ洋式化工事（1,906,200円）、外壁ガラスブロック修理（53,352円）、館内誘導灯取替（102,600円）等を実施しました。

■八千種研修センターの利用状況

第31回八千種研修センターまつりを平成28年10月15日（土）・16日（日）に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。なお、2日目には、熊本地震復興支援チャリティーとして「バザー」を開催しました。

■利用状況の推移及び貸出図書数

（ ）は有料件数

	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)	貸出図書数(冊)
26年度	935 (41)	15,742	21,000	2,109
27年度	889 (53)	14,307	20,850	1,957
28年度	984 (218)	12,667	32,550	1,778

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。

2階トイレ洋式化工事の実施により、利用者の快適性が向上しました。

□課題・改善

平成29年度は、2階和室畳入替工事を実施し、施設改修を進めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,145,000	5,054,261			298,810	4,755,451

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	7.青少年野外活動センター費	4,696,000 ^円	4,376,373 ^円	319,627 ^円

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要した経費です。

事業名／青少年野外活動センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
総◆ 取組内容	多彩な学習機会を提供	

◆事業内容(目的・必要性)

野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民に自然にふれる機会や交流の場を提供するため、安全快適な施設管理を行いました。

◆事業の成果

■主な施設修繕工事費

- ・食事棟手洗器修理 41,904円（請負業者：高岡電工(株)）
- ・管理棟コインシャワー修繕 64,476円（請負業者：高岡電工(株)）
- ・炊事棟元バルブ修理及び洗場給水管水抜設置工事 106,920円（請負業者：楠田設備工業(株)）

■主な委託料

- ・清掃委託料 117,888円（請負業者：(株)マインド・サービス、田口区）
- ・警備委託料 147,096円（請負業者：セコム(株)加西営業所）
- ・電気設備管理委託料 172,800円（請負業者：小國電気設備管理事務所）

■主な備品購入費

- ・ラミネーター1台 20,412円（(株)くれよん）

■利用状況

(単位：円)

年度	施設利用者数(人)	利用団体数	施設利用料	山小屋	テント	テントサイト	食器類	管理棟・多目的ホール	シャワー	その他	合計
26年度	5,607	364	970,090	105,450	55,380	31,250	36,000	1,530	77,100	2,450	1,279,250
27年度	8,885	434	1,255,455	132,300	115,360	42,420	38,400	1,020	84,200	0	1,669,155
28年度	6,790	409	1,111,345	127,860	64,890	34,650	37,875	1,275	92,800	0	1,470,695

※利用者数について、26年度は実人数、27年度、28年度は延べ人数で集計しています。

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、1年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に年間を通して利用いただけるよう、恵まれた立地を生かした広報活動を行う必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,696,000	4,376,373			1,470,695	2,905,678

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	8. 人権教育振興費	4,535,000 ^円	4,429,716 ^円	105,284 ^円

急激な社会構造の変化により、人権問題も多様化・複雑化し、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、外国人等の問題に加えて、個人情報の流出、働く人の人権等、新たな問題が生じています。

福崎町では、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表すことが文化として定着している社会をめざして、人権について一層理解を深めていただくために、家庭や学校、職場、地域において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざすため、「福崎町男女共同参画基本計画」を効果的に推進しました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	1 参画と協働	④男女共同参画社会の実現
総◆ 取組内容	関係機関連携、啓発活動の推進	学習機会の充実
II 教育・文化	6 人権教育	②人権尊重の視点にたった行政の推進
総◆ 取組内容	広聴・広報活動と情報公開	

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値・行政改革	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
審議会委員などへの女性登用率	—	26.2%	27.4%	29.7%	31.8%	30.0%

事業名／人権教育振興事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆ 取組内容	自治会学習会 人権フェスティバルの開催	地域の教育力の活用

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民等の人権意識高揚を図るため、自治会単位研修会を開催しました。また、「人権文化を高める教育内容を創造しよう」をテーマとした研究大会に参加しました。

男女共同参画社会実現のため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の周知、啓発を図りました。

◆事業の成果

■研修会の開催及び研究大会・講演会への参加

- ・人権・青少年健全育成研修会

(区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修)

平成28年5月21日(土) 啓発DVD視聴・講話 参加者：99人

- ・自治会単位人権・青少年健全育成研修会

33自治会が実施 参加者：1,247人

- ・神崎郡人権教育研究大会

平成28年8月1日(月) 神河中学校

学校教員を主に企業の参加者により人権関係の研究課題を討議 参加者：102人

- ・神崎郡人権教育研究協議会 学校園所部会人権教育講演会
平成28年8月19日（金） 神河町中央公民館グリンデルホール 参加者：63人
講師：三木市人権・同和教育協議会 副会長 春川政信
演題：「元気の出る人権教育～気づきと実行Here and Now」
- ・兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会
平成28年8月21日（日） 佐用町上月体育館外 参加者：17人
- ・兵庫県人権教育研究大会中央大会
平成28年10月1日（土）、2日（日） 芦屋市ルナ・ホール、精道小学校ほか 参加者：14人
- ・福崎町民主化推進協議会指定人権教育実践発表会（公開授業・公開保育、全体会）
平成28年11月22日（火） 福崎西中学校 参加者：118人
- ・西人教指定・神人教指定人権教育実践発表会（公開授業、全体会）
平成28年11月9日（水） 神河中学校、寺前小学校、寺前幼稚園 参加者：25人
- ・西播磨地区人権教育研究協議会 啓発活動研究大会
平成29年2月4日（土） 神河町中央公民館グリンデルホール 参加者：3人
- ・神崎郡民主化推進連絡協議会人権啓発映画会
平成29年1月21日（土） 市川町ひまわりホール 参加者：91人
上映映画：「母と暮せば」

■福崎町男女共同参画基本計画の推進

- ・自治会単位人権・青少年健全育成研修会における男女共同参画の啓発
福崎町男女共同参画基本計画概要版を配布
- ・国の男女共同参画週間にあわせて講演開催
平成28年6月24日（金） 福崎町文化センター
講演：「ライフプランニング&マネープランニングの基礎知識」
講師：兵庫県金融広報委員会金融広報アドバイザー ファイナンシャルプランナー 大石 泉
- ・福崎町男女共同参画基本計画の周知、男女共同参画の啓発
広報ふくさきに2か月に1回記事を掲載
- ・女性のためのチャレンジ相談（県事業の活用）
平成28年11月18日（金） サルビア会館 相談者3名

■負担金

- ・神崎郡人権教育研究協議会負担金 301,000円
- ・神崎郡民主化推進連絡協議会負担金 57,000円
- ・（公財）人権教育啓発推進センター年会費 20,000円

■補助金

- ・自治会単位研修会補助金 804,000円
- ・福崎町民主化推進協議会運営補助金 450,000円

□効果・達成度

自治会単位研修会では、正しく知ることが同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の解決につながるということを参加者の方に認識していただくことができました。

また、研究大会・講演会には、学校教員のほか、多くの方に参加いただき、人権意識の高揚を図るこ

とができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
自治会単位研修会への参加者数	1,316	1,100	1,167	1,105	1,247	1,300

□課題・改善

自治会単位研修会への参加者数は平成27年度より増加しました。しかしながら、研修会への参加者が固定化しているため、自治会長、人権教育推進委員と連携し、地域の実情に応じた研修会を開催します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,910,000	1,866,547				1,866,547

事業名／人権啓発事業

◆事業内容(目的・必要性)

人権意識高揚のため、県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する啓発事業で、県の補助事業です。

◆事業の成果

■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル

平成28年12月10日(土) 福崎町エルデホール 参加者:316人

- ・体験発表 小中学生
- ・講演 演題:「障がい者が地域で暮らすには・・・」～誰もが住みよいまちづくりに向けて～
講師:特定非営利活動法人 播磨地域福祉サービス第三者評価機構 理事長 河原正明
- ・展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語
- ・人権啓発資料の配布(人権標語マグネットクリップ355個)

■人権啓発冊子

- ・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」作成・全戸配布 6,500部 387,828円
- ・「元気UPじんけん」成人式配布 200部 20,000円

■啓発DVDの購入

- ・「風の匂い」 64,800円

□効果・達成度

多くの方々の人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。

□課題・改善

多くの方々があらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会話のきっかけとなるよう、今後も継続してフェスティバルを開催します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,005,000	969,847	323,000			646,847

事業名／人権意識高揚（心の教育）活動委託事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総◆ 取 組 内 容	インターネット上での危険未然防止(普及啓発、研修会)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆ 取 組 内 容	人権教育を推進、人権意識の高揚	

◆事業内容(目的・必要性)

児童・生徒一人ひとりが、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的に各種事業を実施しました。

◆事業の成果

子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習（インターネットによる人権侵害についての学習等）を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。

□効果・達成度

身近な人権課題解決のための学習や地域住民との交流等を通じて、子どもたちの「豊かな心と生きる力」を育むことができました。

□課題・改善

今後も適正に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,620,000	1,593,322				1,593,322

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	9. 辻川界限文化振興費	41,998,000 ^円	39,195,464 ^円	2,802,536 ^円

辻川界限の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な事業としては、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅、辻川山公園の管理、辻川界限の整備、第37回山桃忌の開催です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総◆ 取組内容	住民組織の育成（辻川界限の観光振興・地域活性化）	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総◆ 取組内容	辻川山周辺全体を観光拠点整備、交流の地域づくり	

事業名／歴史民俗資料館運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集保存し一般に公開するため、各種事業を実施しました。

◆事業の成果

■展示活動

町制60年の節目の年にあたる平成28年度は、福崎町が誕生した昭和30年代に焦点を当て、企画展を開催しました。

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月9日～5月31日	企画展「福崎町 昭和30年代の写真展」	3,787人	展示点数 46点
10月22日～11月27日	企画展「ちよっとなつかしい 昭和30年代くらしの風景」	1,554人	展示点数 80点

■資料収集

郷土資料を収集しました。平成28年度は、1団体から民俗資料1点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

- ・ふくさき歴史体験隊 隊員数16人 保護者・地域ボランティア3人

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界限ウォークラリーをはじめ、はにわづくりや縄文クッキーづくり等を行い、指導者やボランティア等、さまざまな年齢層の方との交流を図ることができました。

- ・連続講座「松岡五兄弟」

本講座では、生誕150年を迎えた井上通泰と柳田國男を紹介し、松岡五兄弟の功績を再認識する機会を提供しました。

実施日	内 容（演題）	講 師	参加者
5月21日(土)	柳田國男と妖怪	大森亮尚	43人
9月10日(土)	どのようにして民俗学は誕生したのか —柳田國男の人生を振り返って—	金子祥之	34人
10月15日(土)	特別講座 井上通泰の華麗な人脈	石井正己	29人
11月5日(土)	井上通泰と南天荘同人会	井上舞	34人

■入館者数 13,958人（平成27年度13,768人、平成26年度12,949人）

□効果・達成度

年間を通じて、企画展や連続講座、ふくさき歴史体験隊事業等を実施し、幅広い年代層に郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供することができました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,213,000	2,603,100				2,603,100

事業名／柳田國男・松岡家記念館管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総	柳田國男・松岡家記念館リニューアル改修	

◆事業内容(目的・必要性)

日本民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに、一般に公開しました。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設の環境改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しました。平成28年度は1人の方から、井上通泰関係資料1点を寄贈いただきました。

■松岡映丘画稿補修委託

委託料：159,840円（受託業者：㈱工房レストア）

作品5点 「桃太郎」「日本武尊」「牛若丸」「木曾義仲」「草摘」

■入館者数15,809人（平成27年度13,222人、平成26年度12,261人）

□効果・達成度

開館40年以上を経過した記念館や生家については、日々の施設点検、記録を行い、雨漏りの早期発見、対処等、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。

辻川山公園内の河童・天狗見学の相乗効果も高く、来館者は1万人を超え、開館以来最多の入館者数となりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
柳田國男・松岡家記念館入館者数	5,260	7,078	12,261	13,222	15,809	8,000→16,000

□課題・改善

老朽化した施設の環境改善、展示を含めた施設リニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,404,000	4,083,755				4,083,755

事業名／柳田國男・松岡家記念館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総 ◆ 取 組 内 容	名誉町民の顕彰	遠野市との交流を促進

◆事業内容(目的・必要性)

柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、各種事業を実施しました。

平成28年度に生誕150年を迎えた井上通泰の記念事業として、第37回山桃忌、記念展等を実施しました。第3回柳田國男検定は、新たに上級編を行い、最高得点者には「遠野への旅」を贈りました。教育普及活動では、伊勢大神楽や版画教室、講演会を開催しました。

◆事業の成果

■第37回山桃忌

[1日目] 8月6日(土)

「第1部 山桃忌と妖怪」参加者：219人

内容：山桃忌 式典

吉備舞「浦辺の松」 K F K典楽会

基調講演「井上通泰と柳田國男～兄弟の絆～」

柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

記念講演「学校の妖怪」 国立歴史民俗博物館名誉教授 常光 徹

シンポジウム「現代に生きる妖怪たち」

コーディネーター：石井正己

パネリスト：韓国・仁荷大学校名誉教授 崔 仁鶴

島根県立大学短期大学部教授 小泉 凡

兵庫県立歴史博物館学芸員 香川雅信

福崎町地域振興課課長補佐 小川知男

[2日目] 8月7日(日)

「第2部 神楽の中の妖怪たち」参加者：404人

内容：「ひろしま神楽」解説 柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

「韓国から見た中国地方の神楽」解説 広島大学名誉教授 尹 光鳳

ひろしま安芸高田神楽上演 「葛城山」「恵比須舞」「八岐大蛇」 桑田天使神楽団

[3日目] 8月8日(月)

「第3部 日韓共同学術会議」参加者：66人

内容：研究発表「民俗学の歴史・方法・課題」

シンポジウム「21世紀における民俗学の挑戦」

■第3回柳田國男検定（初級編、中級編、上級編）

実施日：8月7日（日）

受験者数：初級編43人、中級編24人、上級編15人

合格者数：初級編29人、中級編13人、上級編8人

■展示活動

会 期	名 称	入館者数	備 考
4/9～5/31	企画展「松岡映丘画稿展～線で描く古典文学～」	3,863人	展示点数 7点
7/23～11/27	記念展「井上通泰展～歌を詠み愛した眼科医～」	6,513人	展示点数 105点
10/8～11/6	福崎町・遠野市友好都市交流企画展 「柳田國男と兄弟の絆」（遠野市での展示）	1,712人	展示点数 14点
10/29～12/4	福崎町・遠野市友好都市交流企画展 「宮沢賢治と遠野」（福崎町での展示）	1,982人	展示点数 36点
10/8～11/27	「福崎町子どもふるさと展」	3,052人	展示点数 56点

■記念展「井上通泰展～歌を詠み愛した眼科医～」

本展では、眼科医・歌人・国文学者として活躍した、柳田國男の兄である井上通泰の業績をはじめ、松岡兄弟や森鷗外、門人との交流を、関連資料とあわせて紹介しました。

■講演会

- ・「どのようにして民俗学は誕生したのか-柳田國男の人生を振り返って-」 9月10日（土）

講師：金子祥之 参加者：34人

- ・「井上通泰の華麗な人脈」10月15日（土）講師：石井正己 参加者：29人

- ・「井上通泰と南天荘同人会」11月5日（土）講師：井上舞 参加者：34人

■教育普及活動

- ・伊勢大神楽 11月12日（土）出演：加藤菊太夫 参加者：159人

- ・岩田健三郎版画教室 12月11日（日）講師：岩田健三郎 参加者：36人

■第4回福崎町柳田國男ふるさと賞

柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。

- ・小学校低学年の部

木村悠太（八千種小学校3年生） 作品名「かくしほちょじ」

- ・小学校高学年の部

後藤駿幸（福崎小学校5年生） 作品名「ぼくの家のある施設や文化財調べ」

- ・中学校の部

中井陸登（福崎東中学校1年生） 作品名「田原と八千種地域の道しるべ」

山口華永（福崎西中学校3年生） 作品名「巡礼道 三枝草峠から百町峠まで～板坂の果たした役割～」

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞

平成28年度受賞作品「女性集団の公的側面-女講中の婚礼関与を中心として-」戸邊優美

■館報「うぶすな」発行（7,000部）

■記念館リーフレット（英語版）作成（1,000部）

■記念展美術品輸送展示等業務委託

委託料：250,254円（受託業者：ヤマトロジスティクス㈱）

□効果・達成度

山桃忌、柳田國男検定、記念展、ふるさと賞等、年間を通じて顕彰事業に取り組み、「柳田國男生誕の地 福崎町」を町内外に発信し、松岡五兄弟への理解を深めることができました。

遠野市については、企画展による展示交流、学芸員の交流により、友好都市交流を促進しました。

□課題・改善

柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できる分かりやすい催しや展示手法を引き続き研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 （単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,403,000	4,852,372	112,320		45,000	4,695,052

事業名／三木家住宅等管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総 ◆ 取 組 内 容	三木家住宅の文化交流活動拠点としての活用	

◆事業内容(目的・必要性)

三木家住宅を活用していくため、臨時公開を行いました。また、植木の管理や屋内外の清掃等も行い、文化財の維持管理に努めました。三木家の歴史や魅力を来館者に伝えるため、主屋公開に向けて、展示内容を検討し、展示備品等購入、展示資料の選定を進めました。

◆事業の成果

■臨時公開

民俗辻広場まつり：平成28年4月9日（土）

自然歩道を歩こう大会：平成28年11月23日（水・祝）

その他：辻川界限観光ボランティアガイドの案内による各種団体の見学

■三木家住宅屋敷図レプリカ作製業務委託

委託料：315,900円（受託業者：㈱工房レストア）

工 期：平成28年12月13日（火）～平成29年3月24日（金）

■庭園植木等管理業務委託

委託料：231,120円（受託業者：みやび造園）

工 期：平成28年5月16日（月）～平成28年9月30日（金）

■三木家住宅主屋警備機器設置工事

請負代金：109,296円（請負業者：セコム㈱）

工 期：平成28年9月26日（月）～平成28年10月14日（金）

■三木家住宅展示ケース購入事業

金額：2,160,000円（受注業者：伊藤喜商事㈱）

規格・数量：独立型展示ケース（W2000×D1100×H1100mm） 1 台

独立型展示ケース（W1000×D750×H1200mm） 4 台

□効果・達成度

イベントに合わせて臨時公開し、多くの見学者を得て、文化財保護意識を醸成することができました。文化交流活動の核となる主屋常設展示については、展示備品購入、展示資料の選定、説明パネル作成等を実施し、展示を完成することができました。

□課題・改善

2期工事に向けて、副屋・離れ・蔵等の整備・活用方法について、専門家や関係各課と相談しながら検討を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,569,000	7,262,524			4,500,000	2,762,524

事業名／辻川山公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

来訪者が公園を安全・快適に利用できるよう、地元辻川区と共同で辻川山公園周辺の清掃活動を4回実施しました。

◆事業の成果

■地元区との共同清掃活動

第1回：平成28年4月2日（土） 第2回：平成28年6月25日（土）

第3回：平成28年8月27日（土） 第4回：平成28年10月15日（土）

■街路灯灯具修繕

請負代金：48,600円（請負業者：福岡電業株）

■借地料

福岡町西田原字西廣岡1033番他 390,570円

福岡町西田原字西廣岡1029番他 135,880円

□効果・達成度

辻川山公園周辺及び辻川山の環境美化と安全性向上に努め、良好な施設管理ができました。河童・天狗人気で、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の来訪者がありますが、安全・快適に利用していただきました。

□課題・改善

来訪者にいっそう快適に利用していただけるよう、引き続き良好な施設管理に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,635,000	2,398,483				2,398,483

事業名／辻川界限文化振興事業

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界限の整備活用について検討するため、辻川界限検討委員会を開催しました。また、辻川界限において、文化財保護及び観光振興を図るため、各種団体が実施する事業に対し補助を行いました。

◆事業の成果

■辻川界限検討委員会

第1回：平成28年8月8日（月） 視察研修：平成29年3月6日（月） 視察先：豊岡市

■辻川界限活性化事業活動補助金

「辻川界限花畑ライトアップ事業」：70,000円（NPO法人ハートフルガーデン中播磨）

□効果・達成度

辻川界限検討委員会では、「学問成就の道」を中心に、辻川界限の整備活用について検討を進めました。辻川界限花畑ライトアップ事業により、来訪者に町制60周年を印象づけ、ゴールデンウィーク期間の集客力を高めることができました。

□課題・改善

三木家住宅、旧辻川郵便局、辻川山公園等、辻川界限の整備活用について、引き続き総合的に検討を進める必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 （単位:円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
424,000	308,854				308,854

事業名／辻川界限整備事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総 ◆ 取 組 内 容	学問成就の道のさらなる整備 (H28年度完成)	

◆事業内容(目的・必要性)

「銀の馬車道」周辺地域である辻川地区のまちなみ美化を図るため、県のふるさと創生推進事業補助金を活用し、「学問成就の道」を整備しました。

平成28年度は舗装工事等を行い、「学問成就の道」整備が完了しました。

◆事業の成果

■学問成就の道整備工事

請負代金：10,769,760円

請負業者：エイシン建設㈱

工 期：平成28年9月1日（木）～平成28年12月22日（木）

□効果・達成度

整備工事により「学問成就の道」の美観が高まるとともに、歩きやすくなったことから、来訪者も増加傾向にあります。「学問成就の道」整備により、松岡五兄弟の顕彰を進めることができました。

□課題・改善

平成29年度は、ふるさと創生推進費補助金を活用し、引き続き辻川界限の整備を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 （単位:円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,300,000	11,286,108	5,300,000	4,900,000		1,086,108

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	10. 文化財保護費	8,426,000 ^円	8,259,775 ^円	166,225 ^円

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査です。

事業名／文化財保護一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総 計	Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
	◆ 取組内容	文化財調査の実施、成果の公開	組織や人材の育成(文化財保存・活用)
		収蔵施設の整備	
総 計	Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
	◆ 取組内容	旧辻川郵便局の観光交流拠点として保存整備	
総 計	Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	②緑化の推進
	◆ 取組内容	神社仏閣、境内地樹木等緑地の景観保全	

◆事業内容(目的・必要性)

文化財を保存し、活用を図るため、町指定文化財の保存継承事業等への補助金交付や説明看板の整備を行いました。文化財行政について専門的な立場から審議していただくため、文化財審議委員会を開催しました。

福崎町の地域歴史遺産を掘り起こすため、神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業に取り組みました。

◆事業の成果

■古墳周辺整備事業補助金：3古墳×10,000円＝30,000円

大塚古墳（山崎）・妙徳山古墳（神積寺）・相山古墳（西大貫）

■民俗文化財保存継承事業補助金：6保存会×30,000円＝180,000円

浄舞（熊野神社）・浄舞（余田大歳神社）・追儺（神積寺）・かくしほちょじ（鍛冶屋）

法成就講（高橋）・獅子舞（桜）

■町指定文化財整備事業補助金（クロガネモチ）

補助金：376,000円（補助事業者：嶺雲寺）

■町指定文化財等説明看板修理（東広畑古墳公園、旧小國家住宅（新設））

■文化財審議委員会

第1回：平成28年6月2日（木） 第2回：平成29年3月15日（水）

■文化遺産活性化実行委員会活動補助金：235,489円

文化財フォーラム「福崎町と『播磨国風土記』～古代の地名が語るふるさと福崎の魅力～」

開催日：11月26日（土） 参加者：113人

□効果・達成度

町指定文化財保存継承事業等に補助金を交付することで、文化財保護活動の促進を図りました。

神戸大学連携事業では、井上通泰に関する資料調査を行い、記念展・広報紙で成果を公開しました。

また、これまでの松岡家に関する研究成果を広く発信するため、「柳田國男『故郷七十年』辻川界隈散策マップ」を作成しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
文化財の指定件数	43	43	43	44	44	45

□課題・改善

住民に文化財の重要性を認識していただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。
文化財や郷土資料を保存継承していくため、適切な保存環境を備えた収蔵施設の整備が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,812,000	2,688,492				2,688,492

事業名／埋蔵文化財発掘調査事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、成果の公開	組織や人材の育成(文化財保存・活用)
総	収蔵施設の整備	

◆事業内容(目的・必要性)

埋蔵文化財を適切に保護していくため、開発事業との円滑な調整を図り、調査を行いました。

◆事業の成果

埋蔵文化財包蔵地内の開発に伴う確認調査を6か所(南田原条里遺構4か所、西田原辻ノ前遺跡1か所、西田原上野田遺跡1か所)で実施しました。

福崎駅周辺整備に伴う試掘調査では、中世の遺構が見つかったため、本発掘調査を実施しました。

高岡・福田地区ほ場整備事業に伴う南工区の分布調査・試掘調査・確認調査を実施し、北工区の分布調査もあわせて実施しました。

■開発に伴う確認調査

調 査 名	時 代	種 類	現 状	調 査 期 間	調査面積
南田原条里遺構第30次 (病院附属施設増築工事に伴う確認調査)	その他	その他	宅地	平成28年10月3日(半日)	2か所 8㎡
南田原条里遺構第31次 (個人住宅新築工事に伴う確認調査)	その他	その他	水田	平成28年10月14日(半日)	1か所 9.2㎡
西田原辻ノ前遺跡第3次 (宅地造成工事に伴う確認調査)	中世	集落跡	水田	平成28年12月21日(半日)	3か所 12㎡
南田原条里遺構第32次 (個人住宅新築工事に伴う確認調査)	その他	その他	水田	平成29年1月23日(半日)	1か所 4㎡
南田原条里遺構第33次 (太陽光発電設備設置工事に伴う確認調査)	その他	その他	水田	平成29年2月24日(半日)	1か所 4㎡
西田原上野田遺跡第2次 (進入路造成工事に伴う確認調査)	奈良、 中世	散布地	水田	平成29年3月1日(半日)	1か所 4㎡

■福崎駅周辺整備に伴う試掘調査

福崎駅周辺整備に伴う試掘調査	—	—	道路 更地	平成28年6月28日（半日）、 9月14日（1日）、11月 25日（半日）	10か所 40㎡
----------------	---	---	----------	---	-------------

■高岡・福田地区ほ場整備に伴う分布調査・試掘調査・確認調査

高岡・福田地区ほ場整備事業に係る確認調査（1期）観音堂遺跡・宮ノ前遺跡	弥生～ 平安	散布地	畑地	平成28年9月19日、21日、 23日、10月3日（4日）	27か所 108㎡
高岡・福田地区ほ場整備事業に係る試掘・確認調査（2期）観音堂遺跡・宮ノ前遺跡ほか	弥生～ 平安	散布地	畑地	平成28年10月21日、24日、 11月9日、11日（4日）	56か所 224㎡
高岡・福田地区ほ場整備事業に係る試掘・確認調査（3期）観音堂遺跡・宮ノ前遺跡・前田遺跡ほか	弥生～ 中世	散布地	水田 ほか	平成29年1月30日～2月1 日、17日、20日、24日、27 日～3月1日（9日）	89か所 356㎡
高岡・福田地区ほ場整備事業に係る分布調査（南工区）	—	—	水田 ほか	平成28年5月・6月・9月・ 10月・12月（14日）	133筆 99,326㎡
高岡・福田地区ほ場整備事業に係る分布調査（北工区）	—	—	水田 ほか	平成28年11月7日（1日）	28筆 23,943㎡

■福崎駅周辺整備に伴う本調査

中溝遺跡第1次 （町道駅南幹線改良工事に伴う本発掘調査）	中世	散布地	道路 更地	平成28年12月19日、20日 （2日）	34㎡
---------------------------------	----	-----	----------	-------------------------	-----

□効果・達成度

適切に調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めました。

埋蔵文化財包蔵地の可能性がある箇所について、工事立会や分布調査・試掘調査を行うことで、埋蔵文化財の記録保存を行うことができました。

□課題・改善

発掘調査の結果を講座、展示会等で積極的に公開していく必要があります。

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き整理作業を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 （単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,614,000	5,571,283	3,600,000		207,858	1,763,425

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	11. 三木家住宅 保存整備費	17,230,000 ^円	17,206,159 ^円	23,841 ^円

県指定文化財三木家住宅の保存修理工事に要した経費です。

平成22年度から始まった保存修理工事は、兵庫県教育委員会から補助金を受け、1期工事として、平成23年度から主屋（表座敷）の修理を進め、平成27年度に完成しました。平成28年度は、南土塀・表門等の仕上げ工事、消防設備工事を実施しました。

事業名／三木家住宅保存整備事業

◆事業内容(目的・必要性)

三木家住宅を将来にわたって保存し、福崎町を代表する文化遺産として、より積極的に活用していくため、引き続き、保存修理工事を実施しました。

表門については、屋根瓦葺き、壁仕上げ、樋取り付けを行い、南土塀については、壁仕上げを行いました。消防設備については、消火水槽・ポンプ室を設け、消火栓を設置しました。

◆事業の成果

■年度別事業費一覧

(単位：円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
工事費	10,109,400	21,837,000	42,163,000	36,913,000	25,100,000	53,824,000	14,358,840	204,305,240
設計監理費	17,220,000	7,996,000	7,303,000	4,669,000	7,400,000	14,606,740	2,808,000	62,002,740
事務消耗品	43,500	19,000	46,000	48,000	43,000	28,260	19,800	247,560
年度事業費	27,372,900	29,852,000	49,512,000	41,630,000	32,543,000	68,459,000	17,186,640	266,555,540

■三木家住宅表門等保存修理工事設計監理業務委託

委託料：356,400円

受託業者：神戸建築文化財研究所

工期：平成28年4月4日（月）～平成28年7月14日（木）

■三木家住宅消防設備整備工事設計監理業務委託

委託料：2,451,600円

受託業者：神戸建築文化財研究所

工期：平成28年11月2日（水）～平成29年3月24日（金）

■三木家住宅表門等保存修理工事

請負代金：2,805,000円

請負業者：(株)神田組

工期：平成28年4月28日（木）～平成28年7月14日（木）

■三木家住宅消防設備整備工事

請負代金：10,627,200円

請負業者：高岡電工(株)

工期：平成28年12月22日（木）～平成29年3月20日（月）

■三木家住宅消防設備付帯工事

請負代金：926,640円

請負業者：高岡電工(株)

工 期：平成29年3月23日（木）～平成29年3月30日（木）

□効果・達成度

三木家住宅は、辻川界隈のシンボリック的存在であり、柳田國男、「銀の馬車道」との縁も深く、貴重な文化遺産です。表門・南土塀の復元工事が完成して工事仮囲いが撤去され、「銀の馬車道」沿道の景観が高まりました。

□課題・改善

主屋の公開を進めるなかで、文化財としての価値・魅力を高めるとともに、地域の魅力づくりの中核的役割を果たす保存と活用をめざします。2期工事に向けて、副屋・離れ・蔵等の整備・活用方法を検討します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
17,230,000	17,206,159	8,130,000	8,100,000		976,159

(5) 保健体育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	1.保健体育総務費	21,079,000 ^円	20,702,269 ^円	376,731 ^円

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力している組織の活動費・助成金等です。その活動により、老若男女を問わず、また多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

事業名／保健体育総務一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総 総	Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	②指導体制の確立
	◆ 取組内容	指導者の育成	指導者や審判等の資質向上強化・支援
		指導体制の確立支援	
総	Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
	◆ 取組内容	広報活動の充実	子どもの体力向上を目的とした事業の検討・実践
総	Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
	◆ 取組内容	住民の自主的な健康づくり活動の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

生涯スポーツ全般にわたる事業推進のため、スポーツ推進委員・普及員が中心となり、地域住民対象のスポーツ大会等を企画・運営し、生涯スポーツの普及発展を図りました。近年の高齢化に対応するための日常生活の中に運動を取り入れた普及活動を行いました。

また、生涯スポーツの振興を図るため、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。

◆事業の成果

■スポーツ推進委員会

年4回開催し、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関する審議を行いました。また、スポーツ推進委員の資質・指導力向上及び情報交換等のため研究協議会に出席しました。

・スポーツ推進委員会

第1回 平成28年4月5日(火)

第2回 平成28年8月5日(金)

第3回 平成28年11月1日(火)

第4回 平成29年1月18日(水)

・中播磨スポーツ推進委員研究協議会

平成28年6月19日(日) 福崎町

・兵庫県スポーツ推進委員研究協議会

平成28年10月30日(日) たつの市

・全国スポーツ推進委員研究協議会

平成28年11月17日(木)～18日(金) 福井県

*全国優良団体表彰を受賞しました。

*分科会で、「生涯現役社会の実現に向けたスポーツ推進委員の役割～スポーツの力で健康長寿社会の実現～」をテーマに福崎町の事例発表を長谷川つち代委員が行いました。

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人15人を表彰しました。

【受賞者一覧】

氏名	所属	内容	成績
清水優希	田原小学校 5年生	第40回兵庫県小学生陸上競技大会	女子5年生走高跳 優勝
川端拳史	福岡西中学校 3年生	第63回兵庫リレーカーニバル	中学生男子3000m 優勝
佐藤明日香	福岡西中学校 3年生	平成28年度全国中学校体育大会 第43回全日本中学校陸上競技選手権大会	共通女子200m 出場
山本 星	福岡西中学校 3年生	第6回アジア女子ジュニアソフトボール 選手権大会(中国四川省)	女子U-16ソフトボール 第3位
片山佳輔	福岡東中学校 3年生	第44回リトルシニア日本選手権大会	硬式野球 出場
嶋田悠生	福岡東中学校 3年生	第44回リトルシニア日本選手権大会	硬式野球 出場
中島陸玖	福岡東中学校 3年生	アルインコカップ争奪 第24回ヤングリーグ選手権大会	硬式野球 出場
豊島悠資	福岡東中学校 2年生	第12回タイガースカップ2016 中学生硬式野球・関西NO.1決定戦	硬式野球 優勝
中島友吾	福岡東中学校 2年生	第12回タイガースカップ2016 中学生硬式野球・関西NO.1決定戦	硬式野球 優勝
三森悠司	播磨特別支援学校 3年生	第16回全国障害者スポーツ大会 希望郷いわて大会	ソフトボール 準優勝
青木翔菜琳	就実高等学校 3年生	平成28年度全国高等学校総合体育大会バ スケットボール競技大会 第69回全国高等学校バスケットボール選 手権大会	バスケットボール 出場
青木南々華	就実高等学校 2年生	平成28年度全国高等学校総合体育大会バ スケットボール競技大会 第69回全国高等学校バスケットボール選 手権大会	バスケットボール 出場
大前雄暉	神崎高等学校 2年生	平成28年度全国高等学校総合体育大会自 転車競技大会 秩父宮記念杯第67回全国高等学校対抗自 転車競技選手権大会	自転車競技 出場
大畑柊磨	香寺高等学校 3年生	平成28年度全国高等学校総合体育大会ウ ェイトリフティング競技大会高松宮賜旗 第63回全国高等学校ウェイトリフティン グ競技選手権大会	ウェイトリフティング 69kg 級 第5位
藤井翔平	姫路OBORGラ ンニングクラブ	第16回全国障害者スポーツ大会 希望郷いわて大会	100m・200m 4×100mリレー 第2位

□効果・達成

スポーツ推進委員の資質向上・生涯スポーツ活動の情報入手等により、福岡町の生涯スポーツ普及発展に大きく成果をあげました。また、食育サンパDVD作成に協力し、住民の健康維持増進に大いに役立ちました。

多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになりました。

□課題・改善

健康分野において、推進委員個々の能力を生かし活動を広めていきます。また、自治会の普及員と協力し地域における健康増進活動を活発に進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,324,000	1,258,383				1,258,383

事業名／町体育協会等育成事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
◆ 取 組 内 容	指導者の確保、後継者の育成(近隣大学連携) 施設開放支援	指導者の資質向上、新たな人材を発掘

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町体育協会・福崎町スポーツ少年団の育成強化のため、財政的な補助を行いました。体育協会では、地域住民に対し、秋まつり協賛事業で子ども向けゲーム（めざせ！ストライク）、グラウンドゴルフ大会を企画・運営しました。指導者育成・確保のため、神戸医療福祉大学健康スポーツコミュニケーション学科と協力し実習場所を提供しました。

◆事業の成果

体育協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■平成28年度 福崎町体育協会加盟団体一覧

H29. 3. 31現在

団 体 名	会 長 名	会員数 (人)	団 体 名	会 長 名	会員数 (人)
ス キ ー 協 会	安井利夫	22	卓 球 協 会	高松繁樹	17
庭 球 協 会	佐伯武彦	21	野 球 協 会	中塚幹男	40
ゲートボール協会	上野昭郎	8	バレーボール協会	能瀬 林	25
陸 上 競 技 協 会	岩崎文治	28	水 泳 協 会	三輪和幸	24
少 林 寺 拳 法 協 会	生田久人	30	山 の 会 協 会	内藤 守	74
柔 道 協 会	難波弘一	30	ソフトボール協会	和田英男	266
合 氣 道 協 会	羽室研二	36	グラウンドゴルフ協会	旭 義春	221
ソフトバレーボール協会	米田 泉	60	ゴ ル フ 協 会	北山孝彦	7
剣 道 協 会	上田亮一	25	合 計		934

■平成28年度 福崎町体育協会決算書

歳 入			歳 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	34,000	加盟協会から @2,000×17	事 業 費	1,813,112	加盟協会助成金 大会賞品等
補 助 金	1,744,000	町補助金	事 務 費	17,320	事務用品他
繰 越 金	282,464	前年度繰越	基 金 費	50,000	50周年記念事 業積立基金
事 業 収 入	31,550	大会参加料			
雑 入	4	利息・戻入	予 備 費	0	
合 計	2,092,018		合 計	1,880,432	

歳入歳出差引額 211,586円(平成29年度へ繰越)

■平成28年度 福崎町スポーツ少年団決算書

歳 入			歳 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	61,500	加盟団から	登 録 費	54,000	県登録料他
		@1,000×58	事 業 費	60,000	大会補助金
		@700×5	事 務 費	1,080	郵便料他
補 助 金	80,000	町補助金	会 議 費	1,118	会議用飲物
繰 越 金	64	前年度繰越金	慶 弔 費	0	
雑 入	7	利息	予 備 費	0	
合 計	141,571		合 計	116,198	

歳入歳出差引額 25,373円（平成29年度へ繰越）

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む17協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,824,000	1,824,000				1,824,000

事業名／子ども会運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	青少年団体への支援(青少年の自主的な活動を促進)	

◆事業内容(目的・必要性)

子どもたちの福祉増進のため、町内子ども会相互の連携と子ども会の自主的な活動の充実を図り、各種行事に取り組みました。主な行事としては、子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会・郡球技大会を実施しました。

また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、郡オセロ大会・町少年少女将棋大会を開催しました。

◆事業の成果

■町球技大会の結果：平成28年7月2日（土） 場所 田原小学校

部門	優勝	準優勝	3 位
ソフトボール	西治・西谷	井ノ北	大門
バレーボール	福田	井ノ北	西治・西谷

優勝、準優勝チームは平成28年7月16日（土）に市川町で開催された神崎郡子ども会球技大会に出場し、ソフトボールの部において西治・西谷子ども会が優勝に輝く活躍を見せました。

■神崎郡オセロ大会：平成28年9月4日（日） 場所：市川町公民館

参加者（福崎町からの参加者）

小学校低学年の部	20人
小学校高学年の部	18人

■町少年少女将棋大会：平成28年12月 4 日（日） 場所：福崎町文化センター

参加者

小学校低学年の部	7 人
小学校高学年の部	8 人

□効果・達成度

各種行事を通して、子どもたちの身体的・精神的な向上を図るとともに、子ども・保護者ともに地域での交流を促進することができました。

□課題・改善

町の将棋大会の参加者を増やすため、広報活動にいつそう努めます。また、球技大会練習時のケガを少なくするために、さらなる安全教育を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,080,000	1,848,952				1,848,952

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	2.給食運営費	224,859,000 円	224,330,033 円	528,967 円

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康増進・体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的な役割も担っています。

給食センターでは、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として、地場産物の活用を推進し、学校給食を生きた教材として活用した食育に取り組みました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	② 学校教育の充実
総 ◆ 取組内容	地産地消のさらなる推進、安全安心な学校給食の提供	
Ⅱ 教育・文化	2 効率的で効果的な行政運営	③ 事務事業の見直し
行 ◆ 取組内容	給食センター業務の民間委託	
V 産業振興	1 農林業	② 新しい農業経営の展開
総 ◆ 取組内容	地産地消の推進(家庭、地域や学校給食)	

事業名／給食センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

平成28年度においても、各作業場に設置した6台のテレビカメラシステムを活用し、調理現場における安全衛生管理を行いました。また、カメラで記録された調理作業や洗浄作業の様子は、園児や小学生の施設見学时や各種団体の試食会の際にテレビ画面で再生し、福崎町の安全安心な給食づくりの実態を広くPRしました。

給食の試食会については、16回(延べ人数267人)受け入れました。施設見学については、12団体(延べ人数429人)を受け入れました。13年が経過したシステム洗浄機・立体浸漬槽は、経年劣化も進み修繕部分も増えて、業務に支障をきたすため更新しました。また、22年が経過した給食配送車も宝くじ収益金による社会貢献広報事業を活用して更新しました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、効率よく徴収率の向上を図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、現年度給食費の滞納額の減少に努めました。

◆事業の成果

■収入状況

(単位：円)

年度	区分	調定額	収納額	不納欠損額	滞納額	徴収率(%)
28	現年度	101,286,986	101,178,610	0	108,376	99.9
	過年度	1,272,756	194,987	122,820	954,949	15.3
	計	102,559,742	101,373,597	122,820	1,063,325	98.8
27	現年度	92,809,740	92,746,784	0	62,956	99.9
	過年度	1,611,815	310,477	91,538	1,209,800	19.3
	計	94,421,555	93,057,261	91,538	1,272,756	98.6

「福崎町債権管理条例」に基づき、速やかな滞納整理事務を進め、滞納額のうち、生活困窮により2件の不納欠損処分（122,820円）を行いました。また、私立認定こども園から給食事業諸経費納付金（給食にかかる電気代・水道代・消耗品費）として839,000円収入しました。

■支出状況

平成15年6月から供用開始した、給食センターの厨房機器・設備機械等も耐用年数の経過で消耗部に不具合が生じ、給食センター管理事業の修繕料を1,952,053円支出しました。また、13年を経過するシステム洗浄機・立体浸漬槽の不具合も生じ、6年間リース契約により入替工事を行いました。【日本調理機(株)：43,869,600円（内保守料：1,879,200円）】22年を経過した給食配送車も更新しました。【豊紙発動機：5,172,800円】

■学校給食費 調定額及び収入状況 (H29.5.31現在) (単位:円)

学校または施設名	調 定 額		収 入 済 額		不納欠損額		収 入 未 済 額	
	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度
福 崎 小	20,681,595	372,064	20,656,195	103,172	0	0	25,400	268,892
高 岡 小	3,684,896	36,000	3,601,920	0	0	0	82,976	36,000
田 原 小	23,639,346	370,788	23,639,346	37,223	0	0	0	333,565
八 千 種 小	7,789,984	0	7,789,984	0	0	0	0	0
計	55,795,821	778,852	55,687,445	140,395	0	0	108,376	638,457
西 中	13,452,869	414,486	13,452,869	33,784	0	122,820	0	257,882
東 中	19,083,158	40,538	19,083,158	0	0	0	0	40,538
計	32,536,027	455,024	32,536,027	33,784	0	122,820	0	298,420
福 崎 幼	2,429,120	11,200	2,429,120	0	0	0	0	11,200
高 岡 幼	331,020	0	331,020	0	0	0	0	0
田 原 幼	2,941,775	27,680	2,941,775	20,808	0	0	0	6,872
八 千 種 幼	944,600	0	944,600	0	0	0	0	0
計	6,646,515	38,880	6,646,515	20,808	0	0	0	18,072
給食センター職員	622,573	0	622,573	0	0	0	0	0
私立こども園	5,686,050	0	5,686,050	0	0	0	0	0
計	6,308,623	0	6,308,623	0	0	0	0	0
合 計	101,286,986	1,272,756	101,178,610	194,987	0	122,820	108,376	954,949

□効果・達成度

町広報の食育通信や給食だより等でPRし、見学受け入れを呼びかけることにより、町内全認定こども園からの見学がありました。見学を通じて、給食センターで働く人々に感謝し、好き嫌いせず・残さず食べるように意識付けができました。更新した給食配送車は、「サキちゃん号」と命名し、給食配送業務の安全性が確保できました。行政、学校、PTA等関係機関の連携と協力により現年度給食費の目標徴収率99.9%が達成できました。また、現年度・過年度合わせて、平成27年度より0.2%徴収率がアップしました。

□課題・改善

今後、給食費の現年度分をできるだけ滞納繰越にしないように早めの対策を講じるとともに、過年度滞納分についても徴収体制の確立・臨戸訪問強化を行い、徴収率の向上につなげていきます。厨房機器等の更新も計画的に実施していきます。また、事務事業の見直しとして、調理・配送業務における民間

委託の実施に向けて取り組んでいきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,944,000	25,731,867			4,000,000	21,731,867

事業名／給食センター給食事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に県内産食材を優先して使用し、歳時記に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ麺やもちむぎ精麦を使用した献立を積極的に取り入れました。そうした福崎町の給食をPRするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝えたり、町民対象の給食試食会や福崎秋まつりでの給食カレーの試食等を実施して広く町民にもPRしました。

一日平均給食供給人員約2,560人に対して、小学校年間180日、中学校年間177日、認定こども園（1号認定）年間168日、認定こども園（2号・3号認定）年間273日の給食を提供しました。給食延べ人員は、487,326人でした。

■給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で101,554,215円です。

給食原材料費内訳 (単位:円)

	金 額
副 食 費	64,093,499
米 飯 代	16,622,994
パ ン 代	3,744,888
牛 乳 代	17,092,834
計	101,554,215

■地産地消の取り組み

- 「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」の中の「地産地消の推進・食文化の継承」に基づき、給食センターでは、学校給食における地元野菜（米含む）目標地産地消率（重量ベース）を42%と定め、農林振興課と連携し生産者の協力を得ながら、地元産じゃがいもと玉ねぎを使用した「じゃがいもコロッケ」、地元産にんじんを使用した「にんじんゼリー」を開発して給食に提供し、地産地消率アップを図りました。給食における地産地消率は37.6%と昨年度よりも3.1%減となりましたが、全体の地元野菜の使用量は、478.8kg増となりました。また、7月には「福崎町産夏野菜カレー」、12月には「福崎町産冬野菜シチュー」を実施し、福崎町産の野菜を中心に使用した給食で地産地消をPRしました。
- 福崎町特産「もち麦」の利用促進については、週1回のパン給食の日には、もちむぎ粉を10%ブレンドした「もちむぎコッペパン」、週4回のご飯給食の日のうち、毎週水曜日には、もちむぎ精麦を8%ブレンドした「もちむぎご飯」を提供しました。また、平成27年度にもちむぎ粉を使用して作成した「ゆずジャムタルト」を平成28年度給食にも使用したり、汁物に「かやくもちむぎ麺」を取り入

れる回数を増やしたりしました。また、毎年リクエストが多く好評である「冷やしもちむぎ麺給食」を平成28年度も運動会シーズンに実施して、もち麦の使用に努めました。

□効果・達成度

給食にもち麦を積極的に取り入れることで児童・生徒にもち麦に親しみをもってもらうことができ、給食日より等でもち麦の良さを広く情報発信することにより、家庭でももち麦を広く活用してもらえようPRできました。また、毎月、町のホームページに給食献立表及び給食物資の産地情報を掲載して、食の安全性を啓発しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H24	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
(学校給食)地場産物使用率	12.0%	11.4%	16.2%	17.7%	16.3%	20.0%
(学校給食)地場産物使用率(米含む)	34.2%	33.2%	38.0%	40.7%	37.6%	42.0%

□課題・改善

今後も地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やし、野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、給食に福岡県産の野菜の取り入れをさらに増やす努力をしていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
129,692,000	129,612,901			102,212,597	27,400,304

事業名／給食センター施設補修事業

◆事業内容(目的・必要性)

設置後13年を経過した冷暖房空調機器（洗浄室系統部分）が、8月から稼働しなくなり、緊急に洗浄室系統部分のみの室内機・室外機等一式を更新しました。【（有）上月電設：3,875,040円】

□効果・達成度

空調機器の更新により、作業の効率化・安全性の確保が図られました。

□課題・改善

今後、冷暖房空調機器8系統のうち、更新していない7系統についても、耐用年数・部品供給等の観点から空調機器全般の更新を検討する必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,000,000	3,875,040		3,400,000		475,040

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	3.町民グラウンド 管理費	12,676,000円	11,622,508円	1,053,492円

町民グラウンドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されました。

事業名／町民第1、第2グラウンド管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

町民第1、第2グラウンドを安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕工事を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。

- ・第1グラウンドナイター照明灯安定器取替工事 890,000円（請負業者：福崎電業㈱）
- ・第1グラウンドナイター水銀灯ランプ取替及び樹木伐採工事 97,200円（請負業者：福崎電業㈱）
- ・第1グラウンド漏水補修工事 81,000円（請負業者：松岡設備㈱）

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・清掃委託料 176,904円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）
- ・電気設備管理委託料 116,400円（請負業者：小國電気設備管理事務所）

□効果・達成度

第1グラウンドでは、照明灯安定器等の取替えを行い、より快適に夜間のスポーツ活動を行える環境を整備しました。第2グラウンドでは、グラウンドゴルフを中心に多くの利用がありました。なお、平成28年度社会体育施設(町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、111,821人でした。

□めざそう値

めざそう値・アクションプランKPI	H20	H25	H26	H27	H28	目標(H30)
社会体育施設利用者数	64,000	81,000	102,674	120,038	111,821	90,000→130,000

※町民グラウンド、スポーツ公園、体育館利用者数

□課題・改善

第1グラウンドは、表層部の真土が雨による流出や飛散により、傷みが目立ちます。また、雨天時には水はけが悪く、使用が制限されることもあるため、利用者がより安全で快適に利用できるよう全面的な土の入れ替え、整備の必要があります。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,422,000	4,053,797			446,130	3,607,667

事業名／スポーツ公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・器具修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕工事を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。

- ・エミットプレイングタイマー修理工事費 654,480円（請負業者：福崎電業(株)）
- ・ゲートボール場（調整池）土砂撤去作業費 43,474円（請負業者：藤澤工業(株)）

■施設器具修繕を行い、より快適に施設利用ができる環境を整えました。

- ・遊具ブランコ修理費 90,720円（請負業者：(有)福崎堂運動具店）

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 294,192円（請負業者：セコム(株)加西営業所）
- ・芝生管理委託料 594,000円（請負業者：中塚造園土木）
- ・電気設備管理委託料 129,600円（請負業者：小國電気設備管理事業所）
- ・清掃委託料（管理棟） 108,000円（請負業者：(有)カワバタ商会）
- （第2体育館） 42,390円（請負業者：(株)マインドサービス）

□効果・達成度

多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成に貢献することができました。

□課題・改善

ゲートボール場が調整池となっているためにゲリラ豪雨や台風時には土砂が流れ込み、維持に負担がかかります。今後のゲートボール場の活用方法及び改修について考える余地があります。ソフトボール場は表層部の真土が雨による流出や飛散により、傷みが目立ちます。利用者がより安全で快適に利用できるよう、土の入れ替え、整備の必要があります。劣化が進行したテニスコートは改修予定です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,128,000	4,802,919			1,238,880	3,564,039

事業名／町民第3グラウンド管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総 ◆ 取 組 内 容	多目的グラウンドの設置(H26年度完了)	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総 ◆ 取 組 内 容	浄化センターの修景施設を含めての公園化	

◆事業内容(目的・必要性)

平成27年3月に完成した町民第3グラウンド（さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場）を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕工事を行い、安全に子どもたちが活動できる場を提供しました。

- ・遊具広場ベンチの日よけ設置工事 350,460円（請負業者：尾上組(有)）

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 147,096円（請負業者：セコム(株)加西営業所）
- ・電気設備管理委託料 67,200円（請負業者：小國電気設備管理事務所）
- ・清掃委託料 283,500円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）
- ・グラント整備委託料 129,600円（請負業者：藤澤工業(株)）

■備品購入

- ・長椅子5脚 100,000円（寄附金：福岡サルビアライオンズクラブ）

□効果・達成度

平成27年3月にさるびあドーム・スケートボード場・遊具広場が完成し、幅広い世代が活動できる複合施設として、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティに貢献できました。

□課題・改善

さるびあドームは風通しが良く、冬季には非常に寒く、活動に支障が出るため、防風対策が必要です。また、ドーム内グラントは土質が柔らかく、縮りが悪いため、効率的な整備方法を研究します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,526,000	2,250,194			1,084,000	1,166,194

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	4.学校施設社会開放費	882,000 ^円	879,640 ^円	2,360 ^円

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業名／学校施設社会開放事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>		町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総◆取組内容	施設開放支援	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民のスポーツ振興を図るため、町内の小・中学校の運動施設（体育館・グラウンド）の積極的な開放を実施しました。

◆事業の成果

■学校施設社会開放 学校別集計表

		福崎小	高岡小	田原小	八千種小	西 中	東 中	計
体 育 館	使用回数(回)	456	330	418	348	327	374	2,253
	使用人数(人)	8,367	5,860	13,303	8,979	6,213	8,173	50,895
	使用料(円)	76,200	53,500	68,830	132,930	240,090	103,340	674,890
グ ラ ン ド	使用回数(回)	178	109	49	283	1	8	628
	使用人数(人)	3,740	2,585	4,860	8,640	20	9,312	29,157
	使用料(円)	2,120	0	3,180	117,080	1,060	3,180	126,620

■備品購入

- ・八千種小学校グラウンドアルミベンチ2台購入 42,000円（購入業者：(有)福崎堂運動具店）

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習の活動の場と機会を提供しました。

スポーツクラブ4団体や子ども会のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

授業等に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
882,000	879,640			801,510	78,130

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	5.体育館運営費	242,986,000 ^円	210,708,028 ^円	32,277,972 ^円

社会体育の拠点として、生涯スポーツを中心に、各年代層にあったスポーツを選択できるよう、年間を通じて様々な教室・大会を開催しました。また、キャンプ等を通して青少年の健全育成に努め、成人の体力づくりはもちろんのこと、人と人の交流を深める場として、日常生活の中にスポーツを取り入れられるよう努めました。

より安全に生涯スポーツ活動の場を提供するために、第1体育館耐震工事を行いました。また、体育館東側の文化ゾーン駐車場整備を実施しました。災害に備え、文化ゾーン駐車場内に緊急防災倉庫を新築しました。

事業名／町民体育館管理事業【平成27年度からの繰越】

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総◆取組内容	スポーツ施設の充実及び整備	町民体育館の耐震補強(H28年度完了)
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
総創◆取組内容	各種教室及びスポーツ大会の充実	
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総◆取組内容	職員のスキルアップ	

◆事業内容(目的・必要性)

災害に備え、また周辺施設利用者の利便性を高めるため、駐車場として体育館東側に防災施設造成工事と防災倉庫新築工事を実施しました。

◆事業の成果

平成27年度からの繰越

■緊急防災施設造成工事並びに福崎町緊急防災倉庫新築工事を行いました。

- ・緊急防災施設造成工事費 32,392,440円（請負業者：㈱セイトー）
- ・福崎町緊急防災倉庫新設工事費 12,438,360円（請負業者：牛尾建設㈱）

□効果・達成度

各施設における各種イベント・大会等で駐車場不足問題を解消し、便利に施設を利用できるようになりました。また、防災倉庫は、非常時の備蓄倉庫としての役割を担っています。

□課題・改善

駐車場周辺の清掃及び草刈等を行い、適正な管理に努めます。

予算額	決算額	財源内訳（単位：円）			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
77,000,000	45,349,200		45,300,000		49,200

事業名／町民体育館管理事業【平成28年度分】

◆事業内容(目的・必要性)

第1体育館を安全かつ快適に利用していただくため、耐震改修工事・施設修繕を行いました。また、地域住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティ・スポーツ振興を図るため、スポーツ大会・教室の充実

に努めました。

◆事業の成果

■第1 体育館耐震改修工事を行いました。

- ・第1 体育館耐震改修工事費 153,158,347円（請負業者：前川建設㈱）

■耐震工事に伴い、施設をより便利に使用できるよう修繕を行いました。

- ・第1 体育館事務室空調器更新工事 289,548円（請負業者：イイダセツビ㈱）
- ・体育室段差解消工事及び網戸張替修繕費 32,400円（請負業者：尾上組㈸）
- ・第1 体育館防火暗幕カーテン取付工事費 449,280円（請負業者：インテリアアオタ）
- ・柔道場変更に伴う畳加工代 35,100円（請負業者：㈸福崎堂運動具店）

■耐震工事に伴い、施設を便利に使用できるよう備品の充実に努めました。

- ・貴重品ロッカー 200,448円
- ・傘たて 34,020円
- ・パンフレットスタンド 32,832円
- ・ショーケース 77,490円
- ・掲示用黒板 9,612円
- ・事務所書庫等 783,609円

■健康増進を目的にスポーツ器具用品の充実に努めました。

- ・体力測定器具（長座体前屈計2台・握力計2台） 88,392円
- ・トレーニング器具（腹筋用肋木） 100,000円
- ・トレッドミル1台 1,163,160円
- ・卓球台1台 72,000円

（単位：人）

年度	球技室	体育室	卓球室	トレーニング室	第2 体育館	計
26年度	12,723	6,109	4,008	8,845	8,175	39,860
27年度	13,253	5,753	4,999	11,042	8,139	43,186
28年度	6,831	3,532	3,645	5,154	10,316	29,478

■各種大会を開催し、町民の健康づくり・コミュニケーションづくりに貢献しました。

大会名	期日	場所	対象	参加
マスターズソフトボール大会	4/17	第1グラウンド	35歳以上の男女。チーム年齢合計が360歳以上で構成	7チーム
町民親善グラウンドゴルフ大会	5/7	第3グラウンド	誰でも可	48チーム
山菜ハイキング	5/21	鉢伏高原	誰でも可	45人
カヌー教室	6/26・8/6	野外活動センター	町内小学4～一般	10人・14人
ふれあいワンデー生活塾	7/16	野外活動センター	町内小学1～3年生	64人
アウトドア生活塾	7/30～31	野外活動センター	町内小学4～6年生	25人
自治会親善ソフトボール大会	8/17～22	第1グラウンド他	自治会でチームを編成	31チーム
地域職域ソフトボール大会	11/6	第1グラウンド他	町内在住在勤者	6チーム
子ども遊びフェスティバル！	1/23	第1体育館	町内幼児園児以上及び保護者	約100人

■スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

講習会名	期日	場所	対象	参加者
スケボーチャレンジ	4/9・16 11/3・5	スケートボード場	町内小学生・保護者	5人 15人
町制60周年記念事業 ヴィッセル神戸キッズサ ッカークリニック	2/18	さるびあ ドーム	町内小学生	100人
健康ピンポン講習会	3/8・15・ 29	第1体育館 卓球室	誰でも可	27人

■健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

教室名	対象	曜日	時間	1期	2期	3期
リフレッシュ体操	一般女性	火曜日	10:00～11:45	35人	35人	38人
貯筋クラブ	65歳以上	水曜日	9:30～11:00	19人	21人	25人
朝のフィットネス教室	誰でも可	水曜日	10:15～11:45	25人	20人	21人
夜のフィットネス教室	誰でも可	木曜日	18:00～19:30	16人		13人
健康ソフトバレー教室	一般女性	金曜日	10:00～11:45	26人	22人	24人
にこにこスポーツ教室	誰でも可	木曜日	13:30～15:00	13人		
いきいき教室	誰でも可	火曜日	13:30～15:00	19人		
ポールウォーキング教室	誰でも可	木曜日	10:00～11:30	42人		

□効果・達成度

行事や教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができました。また、健康志向の教室により、高齢者の健康維持増進を図りました。

耐震工事に伴う7月から12月までの休館については、第2体育館やエルデホール等で対応しました。

1月から通常利用が可能になり、利用人数が戻りつつあります。

□課題・改善

行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。トレーニング室利用者が増加傾向であるのに対し、トレーニング器具の不足や劣化が進行しています。器具の更新等を検討します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
165,548,000	165,020,828		155,700,000	2,740,150	6,580,678

事業名／地域スポーツ奨励事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の健康づくり、コミュニケーションづくりを目的に、各自治会で行う運動会や各種スポーツイベントの運営に係る経費の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及び県主催大会の出場に要する経費の補助を行いました。

◆事業の成果

■スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。

- ・ 福崎小学校へ 60,000円
- ・ 田原小学校へ 60,000円
- ・ 高岡小学校へ 36,000円
- ・ 八千種小学校へ 60,000円
- ・ 福崎東中学校へ 36,000円
- ・ 福崎西中学校へ 36,000円

■スポーツクラブ連合補助金を交付しました。

- ・ スポーツクラブ連合補助金 50,000円

□効果・達成度

スポーツクラブを支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。

□課題・改善

スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
438,000	338,000				338,000

IV 学識経験者の意見

(1) 就学前の子育て支援事業

- ①子育て支援事業は、保護者に優しい制度として核家族化の進行する状況の中で欠かすことのできない制度と考えます。
- ②女性の社会進出を支援することでもあり、女性の活躍できる機会を増やし、女性の活力が地域に反映されることにも繋がり、より一層の充実を期待したい。
- ③子どもの安全・安心が確保されることで、子育てに対する安心感が若い保護者層の流出を防ぎ、流入を促進することにもなり、少子高齢化を抑制する大切な事業と考えます。
- ④少しでも早くから集団生活に慣れさせるという面でも将来的に子どもの学校不適應を防止する効果もあると思います。
- ⑤子どもの健全育成のために医療機関との連携をより強化すべきと思います。
- ⑥各認定こども園ごとに入園児童の健康と安全を確保しながら年齢に応じた教育・保育ができていることを評価します。
- ⑦延長保育や一時預かりなどは、今後も利用が増加すると予想されますので、できるだけ保護者の要望に応じて頂けたらと思います。また、途中の発熱など病気になった場合も定時まで預かってもらったら助かるのにとの声もあります。
- ⑧低年齢からの入園が増加傾向で、保育教諭の確保が課題だということ。保護者から正規の教諭が各園少なく、非正規の教諭が多いので、責任などの面で不安があるという声を多く聞いています。
- ⑨認定こども園に移行し、教育・保育の充実をさらに努めていただける事を期待します。
- ⑩マイナンバー制度の施行及び国の段階的幼児教育無償化に対応するため、システム改修で準備を整えられたことは喜ばしいと思います。
- ⑪保護者のニーズに対応した保育事業を実施されているようですが、一方で兄弟姉妹が同じ公立園に通えず私立のこども園に行かざるを得ないという話を聞きました。
- ⑫園児送迎バスは地区で1名でも運行しているのは効率面からすると悪いが、ぜひ続けて欲しい。今後も安全な送迎を望みます。
- ⑬園児送迎バスについては、多様化する保護者の希望をできるだけ叶えることができるような体制づくりを望みます。
- ⑭子育て支援施設の利用者が年々増えていることは評価できます。
- ⑮子育て支援センター事業は、子育て親子の交流だけではなく、多世代との交流も取り入れて、子育て世代と地域のつながりがとれて高く評価します。子育てに関する相談や情報提供を行うことで、時には保健センターと連携をとって、より親子が安心して暮らせるように支援をお願いします。
- ⑯“すきっぷひろば”をミニデイ事業で実施した事で、地域の高齢者との世代間交流とつながりができた事は評価します。そのような地域が増加するよう期待します。

- ⑰高学年の児童も学童保育を利用できるようになりましたが、その結果として生じたことに関する評価が望まれます。
- ⑱学童保育は、留守家庭の小学生の健全育成、安全面において評価できます。利用人数が増加していることで、指導員の人数確保や時間内の過ごし方など、工夫が必要になってくると思います。
- ⑲学童保育・放課後子ども教室事業で利用者が増加している事は教育環境改善をされている結果と評価したいです。
- ⑳田原小、八千種小だけで放課後子ども教室事業を実施されています。福崎小、高岡小では必要ないのですか。

(2) 教育委員会関係事業

- ①不登校児童や生徒に対するきめ細かな対応ができていることを評価します。
- ②特別支援学級の児童生徒が増加傾向と聞きます。先生方も大変ご苦労があると思いますが、児童生徒の個性、特性を見いだして、それを生かせる環境作りや将来を見据えた指導をお願いしたいと思います。
- ③不登校、発達障害、貧困・・・各分野ごとに学校を支える専門家チームの窓口を設置してはどうか？学校が躊躇無く相談できる体制が学校の抱え込みの防止に繋がると思います。
- ④スクールカウンセラー、相談員等の環境整備の効果の実態がわかりにくいです。
- ⑤休日に学校外で発生した問題行動まで学校が抱え込まなければならないような体制には疑問を感じます。「地域で子どもを育てる」という体制の強化を望みます。
- ⑥小中学校では何でも学校に任せるという風潮の中で教師達のオーバーワークが深刻な問題になりつつあるのではないかと感じます。
- ⑦子どもたちの「生きる力」を育む教育、「心の教育」の充実に努められたこと、共感します。より一層お願いします。
- ⑧子ども、教職員の積極的な健康保持、増進に的確に対応されている事、とても評価できると思います。
- ⑨国際教育の事業は、指導能力をさらに高めてくださるよう期待します。

(3) 学校関係事業

- ①引き続き、備品の充実に取り組まれることを願います。特に毎年課題として挙げられている理科教材の充実について、優先的に取り組む必要を感じます。
- ②大規模改修実施学校数の目標を達成するための準備が必要と思われます。
- ③施設の補修について、特に大規模な補修箇所に関しては具体的な計画を策定し、広く公開することが望まれます。
- ④エアコンの整備は必要不可欠であると思います。近年の急激な温暖化の進行は、夏

の学習環境を悪化させ、熱中症になる子供が増加、今後夏季の学習活動をますます制限することは容易に推測できます。是非ともエアコンは贅沢品ではなく必需品であると考えた整備を望みます。学校教育への投資は福崎町の未来への投資であると思います。

- ⑤校舎の美しさ・使い易さ・快適さも子どもたちの学校におけるストレス抑制に大きな効果があるものと考えます。快適な環境が子ども同士のトラブル防止にも効果があると思います。
- ⑥安全確保のため施設補修や教育環境の整備について次年度も着実に進めていくことを望みます。
- ⑦学校施設の老朽化で修繕箇所が多い中、効率的に整備をすすめられている点は評価したいと思います。
- ⑧小、中学校のトイレ洋式化工事も大分進められているのですが、さらによくなることを望みます。
- ⑨教職員の心の健康のためのストレスチェックを導入されたことは良いことだと思います。心身共に健康保持ができる環境が大事です。

(4) 給食センター事業

- ①給食を食育の基本として、また地域特産のもちむぎについて理解する機会として重視している姿勢が感じられます。
- ②幼・小・中の給食事業が行われていることは、食育の面や子どもの健康維持の面からも大変良いことであると考えます。また、地産地消で「もち麦」の利用も良いことだと思います。
- ③福崎の野菜の収穫時期に合わせた献立を増やすことは、子どもたちの食育の面からも大変良いことだと思います。
- ④地産地消や材料を工夫して安全・安心でおいしい給食を提供していることは大変評価できます。
- ⑤地産地消の取組み、食育事業に期待しています。とても良いことだと思います。
- ⑥みんなであたたかい食事が食べられるということの楽しさと大切さを子どもたちにしっかりと理解させてやりたい。
- ⑦できれば栄養面だけではなく、デザート等で給食の楽しさを増やしても良いと思います。子どもたちの学校に行きたいという思いをより大きくしてやりたいと考えます。
- ⑧給食センターの見学受け入れをすることで、子どもたちに食に対しての意識付けができたことは良い。今後も続けて欲しい。
- ⑨イベントの結果からレシピを反映したメニューを望みます。
- ⑩空調機の更新で作業の効率化、安全性の確保が出来たことは良かったです。

- ⑪調理・配送を民間に委託することになります。衛生面・安全面などより一層の監視体制を望みます。

(5) 社会教育事業

- ①吉識雅夫科学賞を設け、町として児童生徒の自然科学研究の活性化を図っていることは高く評価できます。
- ②今後もスクールヘルパーや地域ヘルパーの協力を仰ぎながら、地域で子どもを育てることを進めていただきたいと願います。
- ③地域ボランティアのご協力で教育支援活動や学校支援活動が幅広く行われていることに感謝します。ただボランティアが減少傾向にあり、人材確保が今後の課題です。
- ④人権意識の啓発は、教育委員会の事業としてとても重要なものと認識しております。今の取り組みをさらに発展させ、今後も魅力あふれた活動を計画されることを期待します。
- ⑤いじめ防止対策推進法を受けて兵庫県のいじめ対応マニュアルも改訂されました。しかし、いじめの定義がしっかりと理解されていない状況にあると感じます。学校だけではなく、人権教育の一環として、大人にもいじめの定義の理解を徹底させることが大切と考えます。
- ⑥LGBTについて社会の理解が遅れ、興味本位のような扱いが多いと感じます。社会全体のしっかりとした学習の場が必要と考えます。
- ⑦インターネット利用の弊害などを注意喚起して、今後も子どもたちを犯罪から守って欲しい。
- ⑧学校での家庭教育学級に参加する保護者が少ないと思います。参加が増えるような時間割を工夫してもらうよう学校側に望みます。
- ⑨市川町の小学校の3・4年生が、障がいのある方が働いている施設で交流を持たれていると聞きました。小さい頃から正しい知識で障がいを理解していく上で、そういう環境が作れたらいいと思います。
- ⑩社会教育事業のサルビアセミナーは、長期にわたり人気の事業だと思います。
- ⑪青少年健全育成、人権教育の取組みで各自治会での集会の参加者が減っているように思います。増やす工夫を望みます。
- ⑫成人式の新企画で、新成人から家族への感謝・家族から励ましの言葉があり、若者の門出にふさわしい試みだったと思います。
- ⑬自主企画による「自分たちの成人式」（よき伝統の福崎町成人式）を評価したいと思います。

(6) 芸術・文化事業

- ①老人大学やサルビアセミナーの受講生は、この数年は、ほぼ横ばいか減少傾向で推移していますが、より魅力ある講座のあり方を検討することにより、受講生がさらに増えることを期待しています。
- ②文化センターやエルデホールの老朽化への対策を計画的に実施する必要があります。
- ③エルデホールは駅からのアクセスも良く、利用しやすいものと考えます。大きな施設ではないが、その分無理のないイベントが実施しやすい。大き過ぎて利用料が高くなり、集客率に追われるよりは、気軽に利用できるホールとして有効であると思います。
- ④文化センターとエルデホールの役割分担・連携が理解しにくい。
- ⑤老人大学、セミナー事業の受講者が横ばいか減少傾向に思います。時代にあった魅力的な講座が増えたらいいと思います。
- ⑥幅広い年齢層が楽しめる文化事業を提供して欲しい。
- ⑦文化センターの老朽化が目立ちます。安全面や利便性の向上を検討してください。
- ⑧集客に苦勞されていると思います。住民参加事業とプロの方々の事業と取り混ぜて魅力ある公演をし、集客率をあげてください。
- ⑨老人大学や公民館クラブ活動がマンネリ化しているのか、長年にわたる利用者が大半で新規利用者が少ないと思います。
- ⑩文化センターのトイレ洋式化工事で利用しやすくなりましたが、老朽化がイメージを暗くしているようです。
- ⑪エルデホールの自主公演について、もっと魅力ある事業を望みます。
- ⑫八千種研修センターに置いてある図書の数が少ない。図書館に行くには特に高齢者には利便性が悪いので、希望する図書を研修センターに持ってきてもらえるようにして欲しい。

(7) 図書館事業

- ①自習室が有効に活用されるよう、今後の体制作りが望まれます。
- ②中高生や成人の利用機会をより増やすよう、今後の取組みが期待されます。
- ③町民の読書の機会を増やす素晴らしい施設と思います。学校との連携により子どもたちの利用も増えていることは大変良いことだと思います。文化センターや子育て学習センター、研修センターとも管轄の壁を越えた連携をすることで、高齢者の利用促進や図書館に行かなくともいろんな施設で図書の貸し出しや返却ができる環境を整えて欲しい。
- ④町外利用者が増えていることは喜ばしいです。
- ⑤図書館でのイベントの参加人数が減少しているように思いますが、新しい企画を考

えてほしいと思います。

(8) 文化財事業

- ①柳田國男をはじめとした松岡家の功績について、さまざまな取り組みによって紹介していることは高く評価できます。
- ②三木家住宅は、今後の活用指針を策定するとともに、その経過や最終的な指針を住民に分かりやすく広報することが望まれます。
- ③埋蔵文化財の発掘について、着実に実施されています。
- ④柳田國男の生家・松岡家記念館・三木家住宅は福崎町の宝として媚びることなく運営してもらいたい。ただ、若者を引き付け、その価値を理解させる工夫は必要と考えます。
- ⑤民俗学は柳田國男の遺産に頼るだけではなく、新しい切り口での「民俗学」への取り組みを期待します。
- ⑥三木家住宅の保存修理工事が当時の材料を使って手間をかけて行われていることに感心すると同時にそれこそが重要なことだと再認識しました。
- ⑦地元に住ながら柳田國男の功績や偉大さを知らない人が多いのではないかと思います。その意味で、小学校高学年ぐらいで柳田國男の事をわかりやすく学ぶ時間を各校授業に取り入れたらいいと思います。
- ⑧三木家住宅の歴史や魅力を伝えるため展示物以外にもボランティアのガイドをお願いして来館者に細かい所まで説明していくのもいいと思います。
- ⑨柳田國男の生家、記念館、三木家の3施設を関連づけて来館してもらえるようなわかりやすい掲示をするなど、総合的に整備して界隈の活性化につなげたらいいと思います。
- ⑩辻川山公園に多くの方が来られています。利用者が快適に過ごせるように施設の環境整備に努めてください。
- ⑪近年マスコミ効果で（カッパ、妖怪などで）辻川界隈の観光客の増加はうれしい事です。が、これ以上妖怪は必要ない、その予算を他の必要な方向に使ってほしいという声も多く聞きます。
- ⑫福崎町の観光資源はこの辻川周辺に集中しているが、町全体を考えて、七種方面、春日山方面にも目を向けてもいいと考えます。

(9) 社会体育事業

- ①多くの児童生徒がさまざまなスポーツ分野で活躍していて、喜ばしいことです。
- ②各種施設が誰もが使いやすい場所として機能するよう、今後も運営や管理のあり方について利用者の意見を尊重し検討することが望まれます。特に各種団体に所属していない利用者の利便性を確保する施策についての検討が必要です。

- ③町の将棋大会の参加者を増やすための実質的な取組みが望めます。
- ④生涯スポーツ事業の推進は高齢化する社会に欠かすことのできないものと考えます。気軽にスポーツに親しみ、体を動かせる施設の存在は大切です。
- ⑤中学生や高校生の部活動を支援する場として、そして、トレーニング機器の整備だけではなく、トレーナーの常駐による指導も考慮してもらいたい。
- ⑥第2体育館の外観と体育館南側のグラウンドへ降りる場所の舗装の補修を望みます。
- ⑦第1グラウンドは12月の恒例行事となっている福崎高生と福田地区老人会とのグラウンドゴルフ大会等でも異世代間交流の拠点として大いに役立っています。
- ⑧体育館の駐車場が広くなって、各施設におけるイベントなど、便利に利用できるようになり良かったと思います。
- ⑨町民体育館の設備拡充はとても評価したいです。健康増進に活用したいと思います。
- ⑩ゲートボール場利用者が減り、また、豪雨などでグラウンドの整備、維持に負担がかかります。今後の活用方法及び改修など検討してください。
- ⑪さるびあドーム東側のスケートボード場の利用、無人管理のため安全面、風紀面で監視が必要と思います。
- ⑫第3グラウンド（さるびあドーム）は平日、グラウンドゴルフの利用者が多く、体力向上やコミュニケーションの場に有効利用されて評価できます。
- ⑬スポーツクラブの会員数が減少傾向にある。指導者の確保など難しい面もあるが、種目や日程など検討して地域スポーツの活性化に努めて欲しい。
- ⑭青少年野外センターは年間を通じて、また町内外の方に利用してもらうように広報活動をしてください。
- ⑮青少年野外活動センターはとても環境が良く、夏場の利用者も多いようですが、もっと集客人数を望める施設を拡充されてはと思います。アクセス道路拡幅などをお願いしたいと思います。
- ⑯グラウンド名で第1と第2では分かりにくいです。土地名も入れられたら分かりやすいです。

平成30年1月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（50音順、敬称略）

神戸医療福祉大学准教授	石 井 恒 生
兵庫県立福崎高等学校長	岡 野 敦
主任児童委員	岡 本 真紀子
住民代表	松 岡 隆 子

V 參考資料

平成28年度 福崎町教育の努力目標

平成28年（2016年）4月 福崎町教育委員会

<基本方針及び長期目標>

「大地に根を張り、幹を太らせ、枝を広げ、大きく伸び行く福崎の教育」

～町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして～

<平成28年度重点目標>

1 就学前保育・教育の充実に努める。

- 1) 「福崎町子ども・子育て支援事業計画」に基づき子ども・子育て支援事業の取組を進める。
- 2) 町内の公立認定こども園4園及び私立認定こども園2園において、多様化する保育ニーズに対応するとともに、3歳児からの就学前教育をさらに充実させる。
- 3) 子育て支援センター・西部子育て学習センター・東部子育て学習センターの3ヶ所の子育て支援施設が連携し、さまざまな事業や子育てに関する情報提供、相談業務を行い、子育て支援機能の充実に図る。
- 4) 外遊び、群れ遊びなどで遊びの創意工夫ができ、豊かな感性や思いやりの心を育てる快適な環境づくりに努める。
- 5) 集団生活や話を集中して聞けるなどの社会性や基本的な生活習慣を育てる。
- 6) 興味・関心、意欲・態度、判断力・表現力など、後伸びする力をつける。
- 7) 発達障害の早期発見・早期療育を目的に、母子保健事業の各種健診や相談事業との連携を強化するとともに、発達障害児が適切な支援を継続的に受けられるよう、専門相談機関や認定こども園、学校の特別支援教育との連携を図るなど療育支援体制の整備・充実に努める。
- 8) 認定こども園の5歳児と小学校との交流を進め、小1プロブレム解消に努める。

2 学校教育の充実に努める。

- 1) 人間性や基本的な生活習慣の向上に努める。
 - ① 「自他の生命」を尊厳し、共生社会を共により良く生きていく力を養う。
 - ② 生活習慣（起床時間、夕食時間、就寝時間）の確立を進める。
 - ③ 「ひびき合う、あいさつ交わし、ささえ合い」、「早寝、早起き、朝ごはん」、「共に学び、共に伸び行く福崎っ子」など、スローガンの活用で町ぐるみの取組を展開する。
- 2) 確かな学力＝「生きる力」と捉え、「知育」「徳育」「体育」「食育」を推進する。
 - ① 学習習慣と意欲・集中力を学校・家庭で共に協力して育て、学力向上に努める。
 - ア) 学力向上プランを実践し、基礎学力の定着と向上に努める。
 - イ) 小中の交流学习を推進し、緊密な連携により、校種間の円滑な接続を図る。
 - ウ) 「福咲学力アップタイム」を継続し、反復学習による基礎・応用力をさらに高める。
 - エ) 学力向上研究会で取りまとめた学力向上に向けた取り組みを各小中学校で実践する。
 - オ) 朝読書や家読、「フクちゃん読書の日」を推進し、読書習慣を向上させる。
 - ② 地域の歴史や文化財について学習する機会を増やし、「ふるさと福崎」についての興味・関心を高め、「柳田國男ふるさと賞」へと繋げる。
 - ③ 町立図書館、青少年野外活動センター、大庄屋三木家住宅、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館など、社会教育施設との連携を図り、生涯を通じて自ら学ぼうとする意欲や関心を高める学習活動に努める。
- 3) 人間的なふれあいに基づく生徒指導に努める。

- ① 校長のリーダーシップのもと、全教職員の共通理解を図り、協働実践で指導に当たる。
- ② 福崎町「健全な子どもの育成5つの方針」を周知徹底する。
- ③ 「いじめ防止マニュアル」の実践と体罰厳禁で教職員と児童生徒の人間的なふれあいに基づく生徒指導に努め、児童生徒間では、「互いに支え合う仲間づくり・学級づくり」など好ましい人間関係を築き、社会のルールやマナーを身につけるなどの社会性を育てる指導に努める。
- ④ 教育相談体制の充実を図る。
教職員のカウンセリングマインド研修や不登校指導員、スクールカウンセラーなどの配置で、児童生徒の悩み等を受け止める相談体制の充実に努める。
- ⑤ ブロウクン・ウインドウ論による早期発見・早期対応に努める。
ア) いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こる、という認識のもとで、早期発見し、児童・生徒の力を活用しつつ早期対応・解消に努める。
イ) 不登校・不登校傾向に対しては、保護者や関係機関との連携を密にしながら、社会的自立に向けた早期対応に努める。
ウ) 問題行動に対しては、その背景にも目を向けながら即対応し、継続的に指導を続ける。
また、「ダメなことはダメ」というゼロ・トレランス式指導も堅持する。
- ⑥ 小1プロブレム・中1ギャップの解消に努める。
認定こども園と小学校、小学校と中学校の連携を深める体験入学などの交流活動を促進する。
- 4) 感動・感激、実感・体感などの体験活動の充実に努める。
 - ① 学校行事や部活動だけでなく、地域の祭事、家事手伝い、ボランティア活動などへの参加を勧め、充実感・達成感を味わう体験活動を進める。
 - ② 発達段階に応じた夢を持ち、夢に向かう姿勢を育てる指導に努める。
- 5) いのちの教育の充実に努める。
思春期支援教室、介護体験、乳幼児保育、小動物飼育、里山散策、花栽培などで、人間と自然を愛し、命あるものを慈しむ心を持ち、命のかけがえのなさを実感できる人づくりを進める。
- 6) 人権教育の充実に努める。
 - ① 同和問題をはじめ、女性、子ども、障害のある人、高齢者、外国人、いじめ、虐待、不登校、DV、セクハラなど人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。
 - ② 不要な携帯電話・ゲーム機の使用・ブログや掲示板への誹謗中傷する書き込みなど、情報モラルに関する指導に努め、人を傷つけたり犯罪に巻き込まれたりしないように周知させる。
 - ③ 人権フェスティバルを継続開催し、すべての生活に人権意識が行き渡る人権文化の創造に努める。
 - ④ 平成27年度に策定した「福崎町男女共同参画基本計画」に基づく取組により、男性と女性が互いに人権を尊重し、責任をわかちあいつつ個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に努める。
- 7) 特別支援教育の充実に努める。
 - ① 一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画により一貫した教育が行える指導体制の整備に努める。
 - ② *インクルーシブ教育システムを推進するとともに、通常の学級に在籍する発達障害のある、または、その傾向のある児童生徒についても同様の指導体制を整える。
 - ③ 学習支援員、介助員等を配置し、支援を要する児童生徒の学習面・生活面の支援に努める。

*障害のある者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的のもと、障害のある者となない者が共に学ぶ仕組み。

8) 食育を推進する。

- ① 「第2次福崎町食育推進計画」に基づき取組を進める。
- ② 生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の確保、食文化の継承等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を育てる学習を進める。
- ③ 「早寝、早起き、朝ごはん」を奨め、朝ごはんの欠食をなくす取組を進める。
- ④ 「地産地消」、「不時不食」(旬の食材)、「もちむぎ」などの地元特産物食材利用に努める。
- ⑤ 給食費滞納の解消に努める。
- ⑥ 学校だよりや食育通信、PTA会報等で食育の啓発を図る。

9) 学童保育の拠点の充実、活動環境の改善や指導員の資質向上を図る。

西部学童保育園、東部学童保育園の2園において、充実したきめ細かな指導を推進する。

10) 建設後30年を超えた学校施設が多く、学校施設長寿命化計画策定の準備を進める。

11) 学校業務改善事業を推進する。

- ① 教職員が時間的・精神的ゆとりを持って児童生徒と向き合うことで、教育活動のさらなる充実を図ることができるよう、兵庫県「教職員の勤務の適正化新対策プラン」(平成25年2月策定)に基づき、週1回以上の「教職員の定時退勤日」及び月2回以上の「ノー部活デー」について、教職員の共通理解のもと、町教委・学校をあげて完全実施に取り組む。
- ② グループウェアを利用して、職員朝礼のペーパーレス化、簡素化を図る。
- ③ 通知表、指導要録の電子化や校務支援ソフトの導入に向けた準備を進める。

3 家庭の教育力を高める。

1) 家庭教育学級の開設(認定こども園・小中学校)

- ① 子どもの人間形成の基盤は「家庭」であり、研修会等により保護者の子育て支援を行う。
- ② 子育てについての親の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応した、学習会や講演会の開催を実施する。
- ③ 保護者の奉仕活動やスポーツ大会を開催し、連帯感の育成や子育て情報の共有に努める。

2) ゲームなどのバーチャルリアリティ体験を減らし、ノーゲームデー、ノーテレビデーの取組を進め、家事手伝いの習慣化を図る。

3) 可能な限り、家族団らんの食事、特に夕食における団らんの大切さを啓発する。

4) 生活習慣(起床時間、夕食時間、就寝時間)や家庭学習時間の確保など、自学自習習慣の確立を保護者の協力を求めて進める。

5) 大人の規範意識の向上を図る「大人が変われば、子どもが変わる」取組を進める。

4 地域の教育力を高める。

1) 「人は環境をつくり、環境は人をつくる」と言われる中、すべての地域住民が子どもたちの健全育成にかかわる取組を進める。

- ① 研修会、講演会等により、地域住民の青少年健全育成意識を高める。
- ② 啓発リーフレットの作成や広報車等を活用した啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりに努める。
- ③ 子ども会活動の推進により各地域で異年齢交流を進め、子どもたちとふれあう取組を推進し、社会性を育てる。

2) 各種団体に協力を求め、健全育成地域づくりに努める。

- ① 青少年補導委員会やPTCAの活動を支援する。
- ② 地域教育推進委員会(県民交流広場)の活動を支援するとともに、委員会相互の連携を図る。

3) 自治会研修会の活性化を図る。

地域の活性化を図るため、人権・青少年健全育成研修を実施する。そこでは、地域の身近な課題を取り上げ、参加・能動型の研修会にし、住民の興味・関心を喚起する。

4) 学校支援地域本部事業の充実を図る。

- ① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を学校教育に生かす取組を進める。
- ② 学校支援者が、児童生徒と喜びを分かち合い、自らの生きがいにつながる活動を創造する。
- ③ 土曜教育支援体制構築事業を利用し、英語を中心とした小学校土曜日教室を校区毎に開講する。

5 いつでも、どこでも、だれでも学びたいことが学べる生涯学習の充実に努める。

1) 2人の名誉町民（柳田國男・吉識雅夫）を顕彰し、郷土への愛着と誇りを持つ子どもを育てる。

- ① 地域の歴史や文化をテーマに優れた研究を行った児童生徒に対し、「柳田國男ふるさと賞」を贈る。子どもたちが、氏の功績や郷土の歴史を再認識する取組を進める。
- ② 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学分野で優れた研究、観察、製作を行った児童生徒に対し、福崎町「吉識雅夫科学賞」を贈るとともに、広く町民に氏の顕彰を図るため、遺族から寄贈された遺品の活用にも努める。

2) 芸術・文化活動の推進に努める。

- ① 図書館では、住民の自主的な学習拠点として、蔵書の充実に努めるとともに、快適、安全な利用しやすい図書館を目指す。
- ② 「福崎町子どもの読書活動推進計画」に基づき子どもの読書習慣が身につくよう、毎月29日を『フクちゃん読書の日』として、学校と連携し各種事業を展開するとともに、家庭への啓発活動に努める。
- ③ 町内小中学生へ配布している「読書ノート」に読書記録を残すことで、読書への関心を高め、楽しんで読書をする環境作りに努める。また、一般の方にも読書を促すよう「おすすめ本リスト」を希望者に配布する。
- ④ 図書館応援隊を支援し、特色ある図書館活動を推進する。
- ⑤ エルデホールの自主事業は、地域住民の要望に沿ったもの、若者層をターゲットにしたものなど、それぞれのテーマに分け実施する。友の会制度の啓発に努め、より多くの方に自主事業に足を運んでいただくよう情報発信をおこなう。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業や地域文化の底上げを目的に、芸術文化の各種催しを企画立案できる人材を育成する文化プロデューサー事業を継続実施する。

3) 地域の歴史文化遺産の掘り起こしに努める。

- ① 歴史民俗資料館は、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保存・展示に工夫を加え、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。また、歴史民俗資料館の連続講座では、『町制60年～福崎町のあゆみとともに～』を開催し、記念の年をふりかえる。また、記念館では、井上通泰の功績を紹介する記念展を開催し、松岡五兄弟の顕彰をいっそう進める。
- ② 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史遺産掘り起こしについて取り組む。
- ③ 「文化財シンポジウム」を開催し、講演会やシンポジウムを通じて、地域の歴史文化遺産を未来へ伝えるための普及啓発を行う。

4) 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館等で形成される文化ゾーンを軸とした文化財の保護・活用の推進に努める。

- ① 3回目を迎える「柳田國男検定」は、上級試験を実施する。検定を通じて、柳田國男の功績を知り、理解を深めていただく。

- ③ 第37回山桃忌は、会期を延長し、日韓学術交流事業を行う。柳田國男のメッセージを考えるシンポジウム・安芸高田神楽をエルデホールにて実施する。
 - ④ 大庄屋三木家住宅（主屋）の保存修理工事が完成し、引き続き表門等の復元工事・消防設備整備工事を進めると同時に、展示ケース等の備品を購入し、29年度の公開を目指す。地元や各種委員会、有識者の意見を交え、管理・活用計画の検討を引き続き実施する。
 - ⑤ 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館が住民に愛され親しみのある施設となるよう各種事業に取り組む。
 - ⑥ 辻川山周辺は、引き続き「学問成就の道」整備工事をおこない、町民の憩いの場として住民が気軽に利用できるよう、整備、広報に努める。
 - ⑦ 地域の先祖の営みを紹介するため、遺跡から読み取れる、当時の生活の紹介や発掘された出土品を展示するなど住民に埋蔵文化財への関心を高める。
- 5) 社会体育、野外活動などのスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに努める。
- ① 昨年完成した「さるびあドーム・スケートボード場」を活用した講習会を開催、広く住民に周知し、健康増進や地域振興の拠点としての活用を促す。
 - ② スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体の育成・発展に努める。
 - ③ 総合型地域スポーツクラブのサポートに努める。
 - ④ 各種健康スポーツ教室・大会等の充実に努め、町民の体力向上を図る。
 - ⑤ 自然景観が優れた野外活動センターを住民に周知、利用を促す広報に努める。
- 6) 参加しやすく魅力ある公民館活動の運営に努める。
- ① 学習や活動を通じて人と人との交流を深めるとともに、学習成果の発表で生き甲斐を高める。
 - ② 町民の要望に応える多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容の充実に努める。
 - ③ 若年世代の参加を図るよう努める。

6 開かれた教育委員会の推進に努める。

- 1) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い平成27年度に設置した総合教育会議等で、町長部局との連携を強めよりよい教育行政の推進を図る。
- 2) 所管施設の現状を認識するために、定期的に所属長との面談や現場視察をする。
- 3) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく「事務事業点検評価」を引き続き実施、公表し、住民から広く意見を求めるように努める。
- 4) 新教育委員会制度に関する研修・研鑽をさらに深め「不易」「流行」を見極める。

福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

(目的)

第1条 福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

(役割)

第2条 評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

(定数)

第3条 評価委員の数は、3名程度とする。

(任期)

第4条 評価委員の任期は、1年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

2 評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

3 評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

(委嘱)

第5条 教育委員会は、委嘱状を交付する。

(教育委員会事務事業評価委員会)

第6条 教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

2 委員会は、教育長が招集する。

3 委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月10日から施行する。